

令和6年度 第3回印西市総合計画審議会

印西市第2次基本計画の策定状況について

令和7年3月19日（水）

株式会社富士通総研

※本資料の人口推計結果は令和7（2025）年1月27日時点の結果であり、現在、社会移動等の状況を踏まえてシナリオ推計を作成中

目次

1. 印西市第2次基本計画策定の全体像	・ ・ ・ ・ ・ P. 2
2. 基礎調査結果	・ ・ ・ ・ ・ P. 3
3. 市民ニーズに係る調査結果	・ ・ ・ ・ ・ P.29
4. 第2次基本計画策定に向けた今後の方向性	・ ・ ・ ・ ・ P.49

1. 印西市第2次基本計画策定の全体像

- 令和6（2024）年度は「基礎調査及び分析」及び「市民ニーズに係る調査」を実施し、調査結果を基に市の課題を抽出
- 令和7（2025）年度は現行計画・現行戦略の検証・分析・整理結果を基に第2次基本計画を策定予定

基礎調査及び分析

市の現状や特性等の整理と分析

- 本市の人口、財政状況、産業、土地利用状況等の現況の整理・分析

各課で策定している計画等の整理と分析

- 第2次基本計画に関連している各課の計画の整理

市の人口や世帯数等の推移の整理と今後の推計

- 人口の将来予測と影響分析、財政推計、産業・経済の将来予測

国や県の関連計画等の整理と分析

- 国や県の関連計画の整理・分析

現行基本計画・総合戦略の検証

- 第1次基本計画で掲げる施策及び事業の達成度等の進捗状況の確認と分析

国社会経済動向の整理と今後5年間の推測

- 社会経済動向の整理・分析

課題整理

- 基礎調査及び分析、市民ニーズに係る調査結果を踏まえ、本市の課題を整理

印西市第1次基本計画及び第2期印西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証、分析、整理

市民ニーズに係る調査

市民会議

- 市民からまちの魅力・課題や理想の将来像に対する意見を聴取

若者向けアンケート

- 若者の視点からの本市の魅力や課題及び市外への転出意向を把握

中学生市民会議

- 中学生の視点からまちの魅力・課題や将来都市像実現に向けた具体的な取組を聴取

市外在住者向けアンケート

- 本市への来訪の実態やニーズを把握

転出入者向けアンケート

- 転出要因（相対的弱み）と転入要因（相対的強み）を把握

- 市民からの意見聴取
- 総合計画策定本部会議等における議論内容の反映
- 各課ヒアリング結果の反映

（※R7年度）・計画構成・重点施策・施策体系等に関する助言及び支援等
・市民説明会・パブリックコメント実施

印西市第2次基本計画策定

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：実施概要–

- **目的**：人口推移等の観点からこれまでの状況変化を把握し、類似団体との比較により本市の相対的な強み・弱みを整理
- **整理・分析項目**：人口推移、産業・経済等、子育て・教育・健康福祉、都市機能、行財政から以下の項目を整理・分析

	人口推移	産業・経済等	子育て・教育・健康福祉	都市機能	行財政
中項目	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 総人口・世帯数 ✓ 自然動態 ✓ 社会動態 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 産業・経済 ✓ 農業 ✓ 商業 ✓ 工業 ✓ 観光 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子育て・教育 ✓ 健康福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 交通 ✓ 土地利用 ✓ 住宅 ✓ コミュニティ ✓ 治安 ✓ 環境 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 財政
主な分析項目	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 総人口、世帯数、平均世帯人員の推移 ✓ 男女別5歳階級別人口構成 ✓ 自然増減の推移 ✓ 合計特殊出生率の推移 ✓ 社会増減の推移 ✓ 年代別転入先・転出先の状況 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 産業大分類別事業所数・従業者数及び特化係数 ✓ 農業経営体数の推移 ✓ 年間商品販売額等の推移 ✓ 製造品出荷額等の推移 ✓ 延べ宿泊者数の推移 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公立・私立保育所の年齢別園児数の推移 ✓ 市立小中学校の児童数・生徒数・教員数の推移 ✓ 医療施設・病床数の推移 ✓ 要支援・要介護認定者数の推移 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 主要駅乗降客数（JR成田線・北総線） ✓ 都市計画用途地域別面積の構成比 ✓ 住宅の種類別空家数・空き家率 ✓ 町内会等への加入世帯数・加入率の推移 ✓ 人口1,000人あたり刑法犯認知件数 ✓ ごみ排出量の推移 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 歳出入の推移 ✓ 財政力指数の推移 ✓ 実質収支比率の推移 ✓ 実質公債費比率の推移 <p style="text-align: right;">など</p>

- **類似団体**：本市の相対的な強み・弱みを把握するため、千葉県内の以下の6団体を類似団体として設定し、比較

	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
人口	129,877 人	196,079 人	198,850 人	128,632 人	107,729 人	61,793 人
設定基準	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 同一沿線 ✓ 総務省「類似団体類型Ⅲ-3」 ✓ 隣接 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人口増加 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 類似鉄道沿線 ✓ 隣接 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 同一沿線 ✓ 総務省「類似団体類型Ⅲ-3」 ✓ 隣接 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 同一沿線 ✓ 総務省「類似団体類型Ⅲ-3」 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 同一沿線 ✓ 隣接

※人口：令和2（2020）年10月1日時点

※類似団体類型Ⅲ-3とは、人口が100,000人以上～150,000人未満、第2次産業・第3次産業の割合が90%以上かつ、第3次産業の割合が65%以上の自治体を指す

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果概要–

人口推移

～人口は自然動態・社会動態共に増加傾向も、地区ごとの偏在あり。ファミリー層の流入が続く一方で、若者世代は流出傾向～

- ✓ 総人口は昭和55（1980）年以降一貫して増加している一方で、印旛地区・永治地区・本埜地区は平成26（2014）年から令和5（2023）年にかけて10%以上人口が減少
- ✓ 令和2（2020）年10月1日時点の年少人口比率（16.4%）及び令和4（2022）年の合計特殊出生率（1.51）は類似団体の中で最も高い
- ✓ 2015年→2020年で15～29歳の純移動数が転出超過となっており、類似団体の中で最も転出超過数が多い

産業・経済等

～第1次産業と第3次産業がバランス良く集積～

- ✓ 事業所数では農林漁業（2.0）、電気・ガス・熱供給・水道業（1.3）、卸売業・小売業（1.1）で、従業者数では農林漁業（2.1）、情報通信業（3.3）、卸売業・小売業（1.2）、金融業・保険業（1.2）で、類似団体の中で特化係数が最も高い

※特化係数：産業別の本市の構成比を千葉県全体の構成比と比較
1を上回れば千葉県全体と比較して相対的に優位であると言える

都市機能

～商業機能が集積し、都市公園が多く立地している一方で、空き家率が高い～

- ✓ 千葉ニュータウン中央地区を中心に商業施設が多く立地し、商業系の用途地域の構成比（7.7%）は類似団体の中で最も高い
- ✓ 1人当たり公園面積（16.84㎡/人）は類似団体の中で最も高い
- ✓ 令和5（2023）年10月1日時点の空き家率（11.2%）は類似団体の中で成田市（11.4%）に次いで高く、特に売却用の空き家比率（9.0%）が類似団体の中で最も高い

子育て・教育・健康福祉

～子育てしやすい環境が整備されている。

要支援・要介護リスクが低い一方、医療資源は少ない～

- ✓ 令和6（2024）年4月1日時点の待機児童数がゼロ
- ✓ 要支援・要介護認定率は平成29（2017）年以降一貫して減少しており、令和6（2024）年の要支援・要介護認定率は12.6%と類似団体の中で最も低い
- ✓ 人口10万人当たりの病院数（2.92施設）が類似団体の中で最も低い

行財政

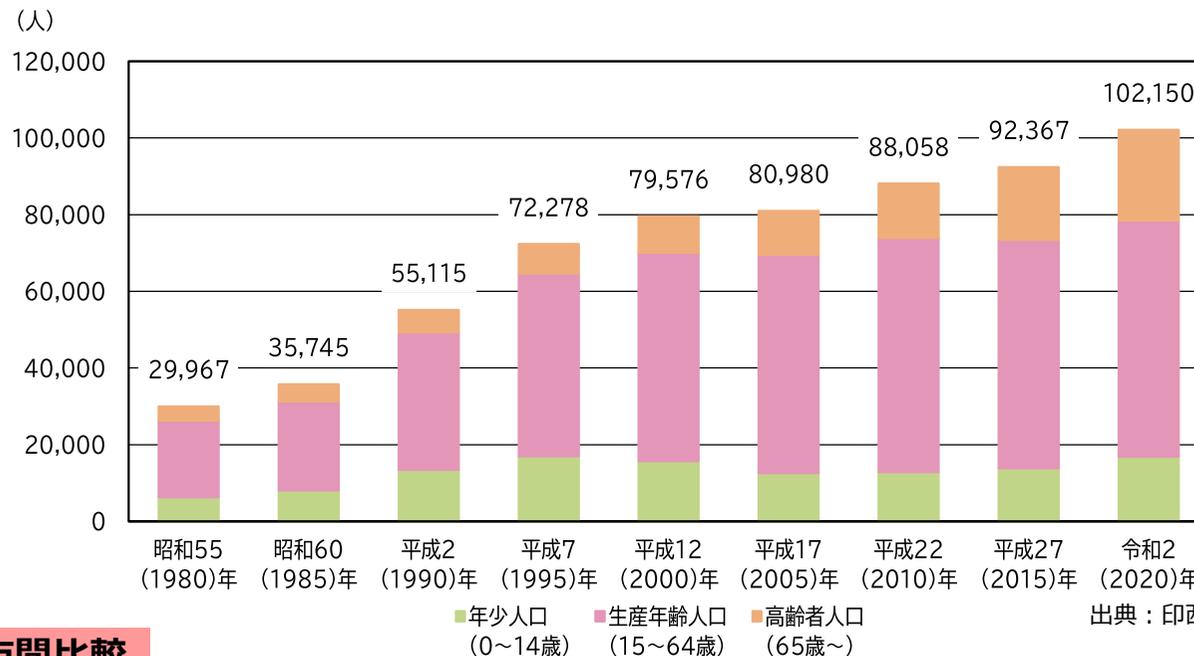
～安定した財政状況～

- ✓ 平成30（2018）年度以降、財政力指数が1.00を上回っており、令和4（2022）年度の財政力指数（1.06）は類似団体の中で成田市（1.29）に次いで高い
- ✓ 実質公債費比率は平成25（2013）年度以降減少傾向にあり、令和4（2022）年度の実質公債費比率（0.2）は類似団体の中で最も低い

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（人口推移）–

総人口の推移

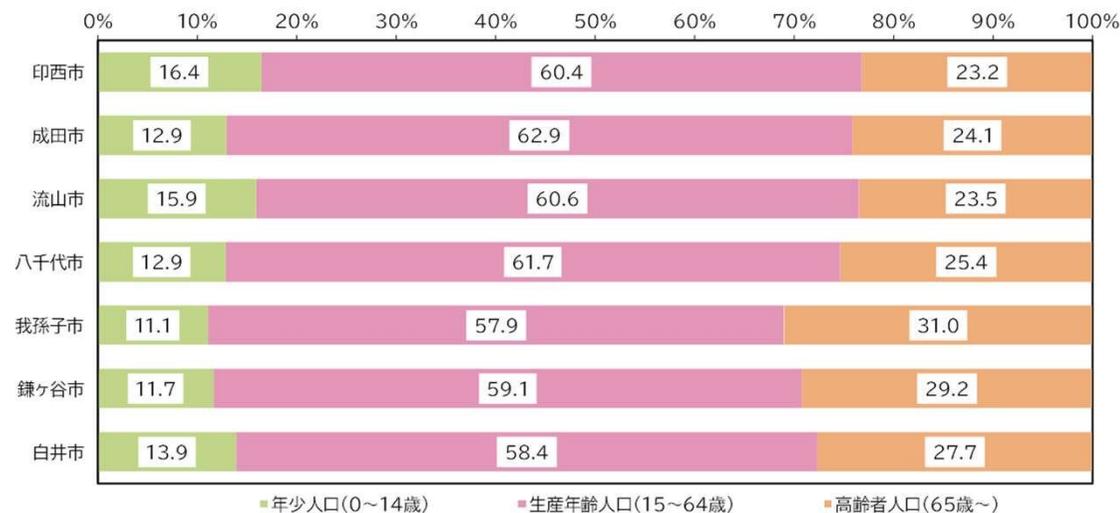
- 総人口は昭和55（1980）年以降一貫して増加しており、令和2（2020）年時点の総人口は102,150人である。



※各年10月1日時点

年齢3区分別人口の都市間比較

- 類似団体と比較すると、令和2（2020）年における年少人口（0～14歳）割合は本市が16.4%と最も高い。



出典：総務省「国勢調査」

※令和2（2020）年10月1日時点

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（人口推移）–

地区別人口の推移

- 令和5（2023）年時点の地区別人口は、中央駅地区が37,713人と最も多く、次いで牧の原地区（22,687人）、船穂地区（7,901人）と続く。
- 令和5（2023）年の対平成26（2014）年比人口増加率は、牧の原地区が102.7%と最も高く、次いで船穂地区（83.5%）、中央駅地区（12.3%）の順に高い。
一方、令和5（2023）年の対平成26（2014）年比人口減少率は印旛地区が-14.4%と最も低く、次いで永治地区（-14.3%）、本埜地区（-10.2%）の順に低い。

単位：人

	木下地区	大森地区	永治地区	中央駅地区	牧の原地区	船穂地区	小林地区	印旛地区	NT (印旛地区)	本埜地区	NT (本埜地区)	総人口
平成26(2014)年	6,885	5,598	1,515	33,581	11,192	4,305	7,564	8,601	4,883	3,758	5,203	93,085
平成27(2015)年	6,786	5,513	1,485	33,674	11,675	4,534	7,542	8,543	4,910	3,697	5,135	93,494
平成28(2016)年	6,695	5,451	1,462	34,724	12,570	4,736	7,565	8,403	4,883	3,600	5,096	95,185
平成29(2017)年	6,605	5,423	1,439	35,969	13,564	4,975	7,546	8,258	4,933	3,529	5,080	97,321
平成30(2018)年	6,577	5,419	1,414	36,505	14,839	5,241	7,558	8,101	5,036	3,459	4,984	99,133
令和元(2019)年	6,548	5,378	1,396	37,005	16,581	5,414	7,522	7,997	5,088	3,515	4,962	101,406
令和2(2020)年	6,555	5,352	1,371	37,114	18,707	5,735	7,456	7,851	5,164	3,436	5,053	103,794
令和3(2021)年	6,462	5,260	1,347	37,707	20,266	6,242	7,453	7,691	5,168	3,321	5,163	106,080
令和4(2022)年	6,438	5,384	1,329	37,407	21,629	7,241	7,632	7,462	5,178	3,310	5,131	108,141
令和5(2023)年	6,454	5,535	1,299	37,713	22,687	7,901	7,713	7,363	5,132	3,376	5,035	110,208
令和5(2023)年の 対平成26(2014)年比 人口増減率(%)	-6.3	-1.1	-14.3	12.3	102.7	83.5	2.0	-14.4	5.1	-10.2	-3.2	18.4

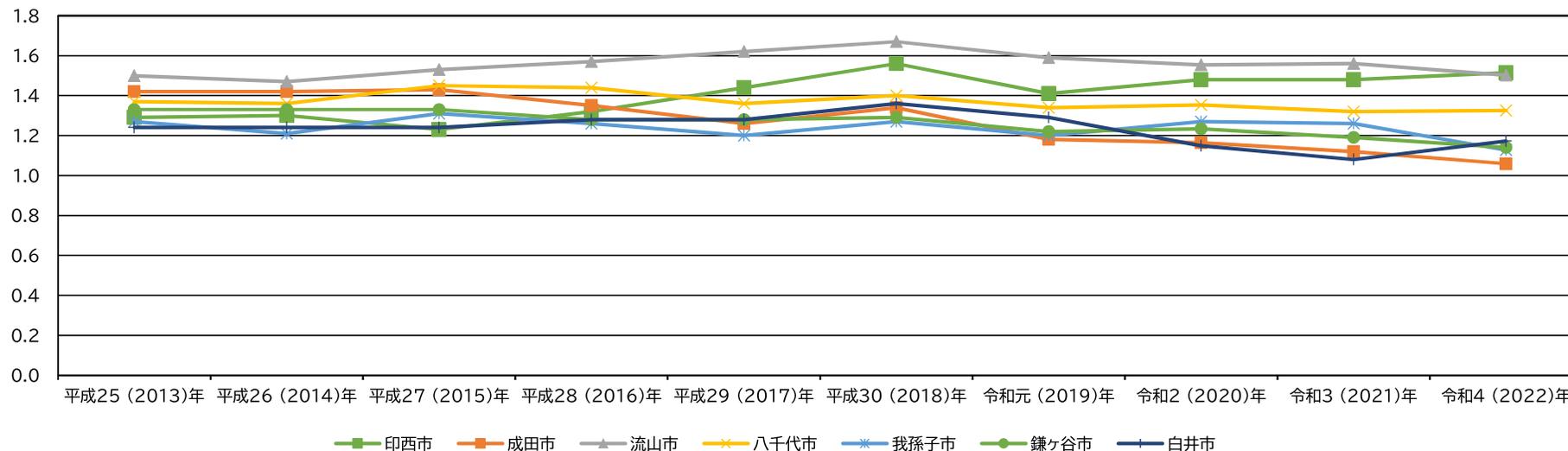
※各年3月1日時点

出典：印西市「データいんざい2023（令和5年版）」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（人口推移）–

合計特殊出生率の推移

- 令和4（2022）年の本市の合計特殊出生率は1.51である。
- 合計特殊出生率は平成30（2018）年（1.56）までは増加傾向にあったが、令和元（2019）年（1.41）に減少に転じ、令和2（2020）年に再び増加に転じた。
- 類似団体と比較すると、令和4（2022）年の合計特殊出生率は本市が1.51と最も高く、次いで流山市（1.50）、八千代市（1.33）と続く。



	印西市	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
平成25（2013）年	1.29	1.42	1.50	1.37	1.27	1.33	1.24
平成26（2014）年	1.30	1.42	1.47	1.36	1.21	1.33	1.24
平成27（2015）年	1.23	1.43	1.53	1.45	1.31	1.33	1.24
平成28（2016）年	1.32	1.35	1.57	1.44	1.26	1.28	1.28
平成29（2017）年	1.44	1.26	1.62	1.36	1.20	1.28	1.28
平成30（2018）年	1.56	1.34	1.67	1.40	1.27	1.29	1.36
令和元（2019）年	1.41	1.18	1.59	1.34	1.20	1.22	1.29
令和2（2020）年	1.48	1.16	1.55	1.35	1.27	1.23	1.15
令和3（2021）年	1.48	1.12	1.56	1.32	1.26	1.19	1.08
令和4（2022）年	1.51	1.06	1.50	1.33	1.13	1.14	1.17

出典：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（人口推移）–

2015年→2020年における男女別年齢5歳階級別純移動数

- 2015年→2020年における男性の純移動数は10～14歳→15～19歳（206人）、55～59歳→60～64歳（201人）及び60～64歳→65～69歳（177人）で類似団体と比較して最も多く、15～19歳→20～24歳（-434人）、20～24歳→25～29歳（-514人）、80～84歳→85歳～89歳（13人）及び85～89歳→90歳～（-2人）で最も少ない。
- 2015年→2020年における女性の純移動数は55～59歳→60～64歳（198人）で類似団体と比較して最も多く、15～19歳→20～24歳（-256人）、20～24歳→25～29歳（-208人）、80～84歳→85～89歳（51人）及び85～89歳→90歳～（9人）で最も少ない。

単位：人

	男性							
	印西市順位	印西市	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
0～4歳→5～9歳	2	710	-92	1,004	202	118	-10	155
5～9歳→10～14歳	2	236	-5	353	-26	48	-7	4
10～14歳→15～19歳	1	206	155	205	140	80	2	-23
15～19歳→20～24歳	7	-434	1,234	967	78	-63	178	-151
20～24歳→25～29歳	7	-514	565	766	196	-325	182	-178
25～29歳→30～34歳	3	864	-622	2,062	935	105	211	79
30～34歳→35～39歳	2	1,063	-326	1,861	612	192	97	172
35～39歳→40～44歳	2	625	-72	1,142	349	158	26	131
40～44歳→45～49歳	2	327	-111	587	188	43	34	37
45～49歳→50～54歳	2	144	41	339	93	43	55	2
50～54歳→55～59歳	3	137	20	211	145	43	91	18
55～59歳→60～64歳	1	201	-47	179	162	77	125	91
60～64歳→65～69歳	1	177	-8	103	41	69	53	66
65～69歳→70～74歳	2	149	-9	218	72	-17	61	88
70～74歳→75～79歳	2	92	8	217	83	-5	27	40
75～79歳→80～84歳	5	48	20	150	90	91	23	60
80～84歳→85～89歳	7	13	41	144	58	43	39	44
85～89歳→90歳～	7	-2	58	125	54	35	19	28

	女性							
	印西市順位	印西市	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
0～4歳→5～9歳	2	735	-119	937	115	131	38	174
5～9歳→10～14歳	2	226	-27	361	30	28	-23	32
10～14歳→15～19歳	4	213	247	224	241	79	31	-57
15～19歳→20～24歳	7	-256	2,012	750	672	-18	288	-131
20～24歳→25～29歳	7	-208	445	1,491	265	-108	192	-141
25～29歳→30～34歳	2	882	-498	2,343	566	80	-2	-19
30～34歳→35～39歳	2	910	-394	1,843	431	150	-77	68
35～39歳→40～44歳	2	497	-69	921	235	65	0	67
40～44歳→45～49歳	3	251	-94	510	257	111	82	11
45～49歳→50～54歳	3	173	-4	371	182	122	94	27
50～54歳→55～59歳	2	126	10	176	103	22	90	3
55～59歳→60～64歳	1	198	-56	185	96	11	79	45
60～64歳→65～69歳	2	138	14	181	33	30	21	22
65～69歳→70～74歳	2	90	7	151	-28	24	86	66
70～74歳→75～79歳	6	62	18	118	76	83	109	63
75～79歳→80～84歳	6	66	55	216	71	77	94	67
80～84歳→85～89歳	7	51	129	196	107	107	177	114
85～89歳→90歳～	7	9	152	283	174	157	181	149

出典：内閣官房「地域経済分析システム」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（産業・経済等）–

産業大分類別事業所数の特化係数

- 産業大分類別事業所数の特化係数は農林漁業（2.0）、電気・ガス・熱供給・水道業（1.3）、卸売業・小売業（1.1）、複合サービス事業（1.1）、サービス業（1.2）が、類似団体の中で最も高い。

	印西市	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
農林漁業	2.0	1.4	0.2	0.4	0.3	0.1	0.7
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1.1	2.9	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
建設業	1.0	0.8	0.9	0.8	0.9	1.3	1.1
製造業	0.8	0.8	0.9	1.1	0.5	1.6	2.8
電気・ガス・熱供給・水道業	1.3	1.1	0.8	0.6	1.2	0.1	0.3
情報通信業	1.6	0.8	1.1	1.0	1.9	0.9	1.0
運輸業, 郵便業	1.3	2.6	0.7	0.9	0.4	0.7	1.4
卸売業, 小売業	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9
金融業, 保険業	0.8	1.4	0.9	0.9	1.1	0.8	0.5
不動産業, 物品賃貸業	0.6	0.9	1.2	0.9	1.0	0.7	0.6
学術研究, 専門・技術サービス業	1.1	0.8	1.0	0.9	1.3	0.9	0.8
宿泊業, 飲食サービス業	0.9	1.1	0.9	1.1	0.9	0.9	0.6
生活関連サービス業, 娯楽業	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	0.7
教育, 学習支援業	0.9	0.8	1.2	1.5	1.6	1.0	1.5
医療, 福祉	1.0	0.8	1.3	1.2	1.4	1.2	0.9
複合サービス事業	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8	0.6	0.4
サービス業(他に分類されないもの)	1.2	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1

※令和3（2021）年6月1日時点

※特化係数：産業別の本市の構成比を千葉県全体の構成比と比較
1を上回れば千葉県全体と比較して相対的に優位であると言える

出典：総務省「令和3年度経済センサス」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（産業・経済等）–

産業大分類別従業者数の特化係数

- 産業大分類別従業者数の特化係数は農林漁業（2.1）、情報通信業（3.3）、卸売業・小売業（1.2）、金融業・保険業（1.2）、複合サービス事業（1.6）が、類似団体の中で最も高い。

	印西市	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
農林漁業	2.1	1.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0.4	1.9	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
建設業	0.8	0.6	0.9	0.5	0.3	0.4	0.2
製造業	0.5	0.9	0.6	1.0	0.1	0.3	0.5
電気・ガス・熱供給・水道業	0.1	1.0	1.5	0.9	0.2	0.0	0.0
情報通信業	3.3	0.5	0.8	0.5	1.2	0.1	0.1
運輸業, 郵便業	1.8	3.1	0.9	0.8	0.1	0.3	0.2
卸売業, 小売業	1.2	0.7	1.2	0.7	0.3	0.3	0.2
金融業, 保険業	1.2	0.9	0.6	0.5	0.2	0.2	0.1
不動産業, 物品賃貸業	0.5	0.6	1.1	0.6	0.3	0.2	0.1
学術研究, 専門・技術サービス業	0.7	0.4	0.8	0.4	0.5	0.2	0.2
宿泊業, 飲食サービス業	1.0	1.0	1.3	0.6	0.3	0.3	0.1
生活関連サービス業, 娯楽業	0.9	0.7	1.0	0.5	0.3	0.3	0.2
教育, 学習支援業	0.6	0.5	1.3	0.8	0.5	0.3	0.2
医療, 福祉	0.9	0.7	1.3	0.8	0.5	0.4	0.2
複合サービス事業	1.6	0.9	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3
サービス業(他に分類されないもの)	0.8	1.7	0.5	0.5	0.2	0.2	0.2

※令和3（2021）年6月1日時点

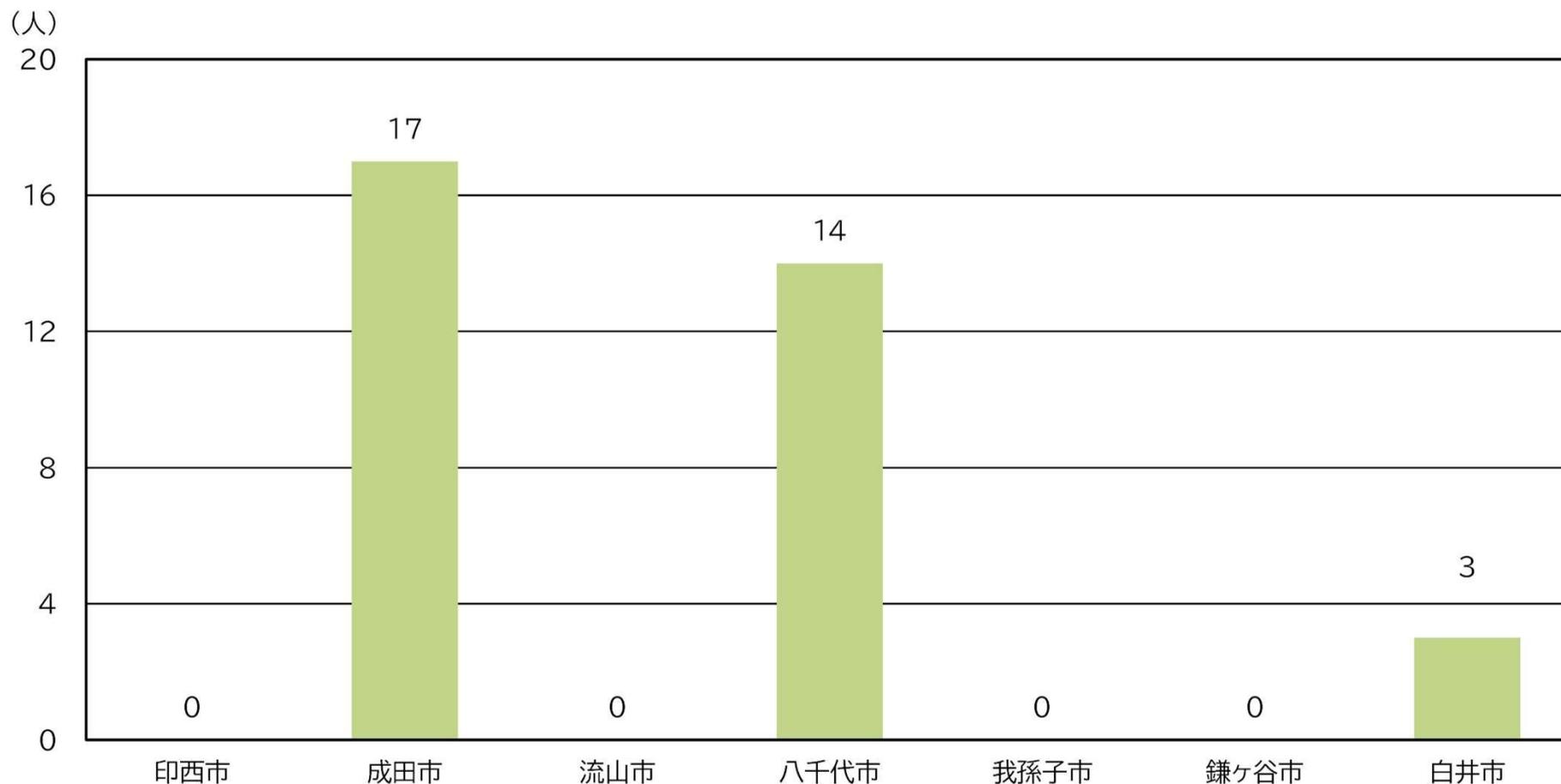
出典：総務省「令和3年度経済センサス」

※特化係数：産業別の本市の構成比を千葉県全体の構成比と比較
1を上回れば千葉県全体と比較して相対的に優位であると言える

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（子育て・教育・健康福祉）–

待機児童数

- 類似団体と比較すると、待機児童数は成田市が17人と最も高く、次いで 八千代市(14人)、白井市(3人)と続き、本市は0人と最も低い。



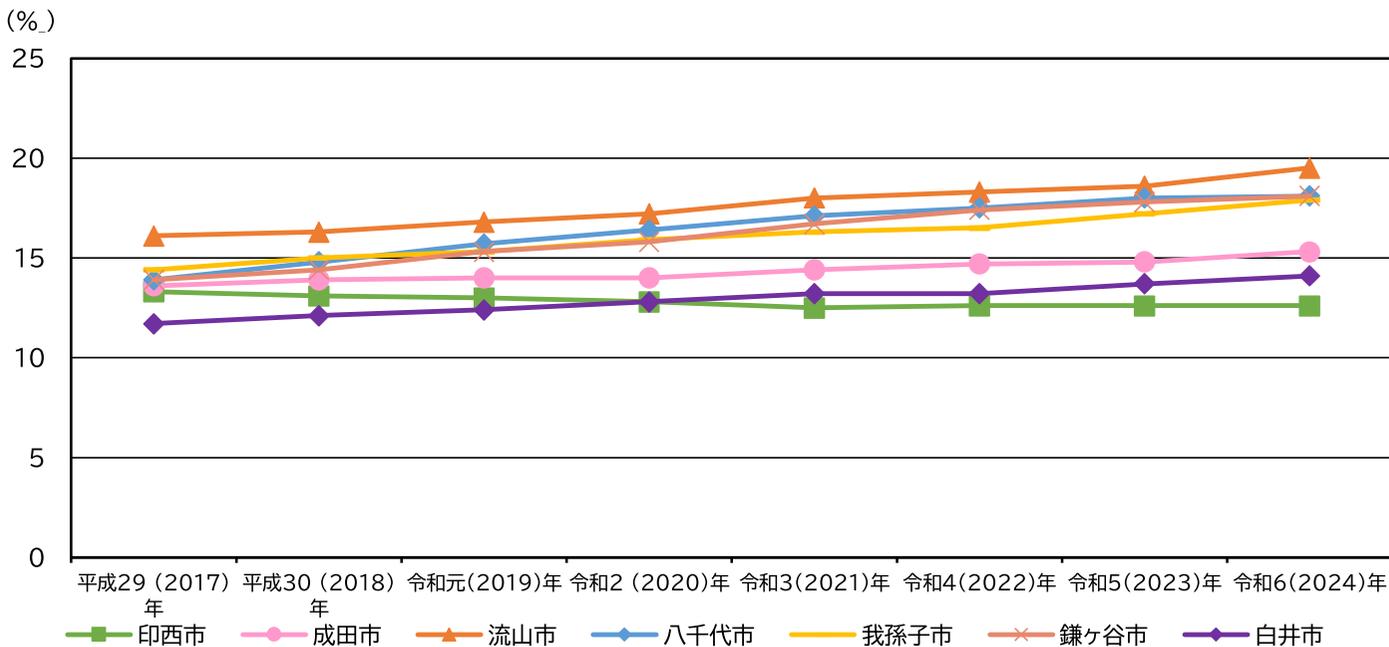
※令和6（2024）年4月1日時点

出典：千葉県「市町村別待機児童数」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（子育て・教育・健康福祉）–

要支援・要介護認定率の推移

- 要支援・要介護認定率は平成29（2017）年以降一貫して減少しており、令和6（2024）年の要支援・要介護認定率は12.6%と類似団体の中で最も低い。



単位:%

	印西市	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
平成29 (2017)年	13.3	13.6	16.1	13.9	14.4	13.9	11.7
平成30 (2018)年	13.1	13.9	16.3	14.8	15	14.4	12.1
令和元(2019)年	13	14	16.8	15.7	15.3	15.3	12.4
令和2 (2020)年	12.8	14	17.2	16.4	15.9	15.8	12.8
令和3(2021)年	12.5	14.4	18	17.1	16.3	16.7	13.2
令和4(2022)年	12.6	14.7	18.3	17.5	16.5	17.4	13.2
令和5(2023)年	12.6	14.8	18.6	18	17.2	17.8	13.7
令和6(2024)年	12.6	15.3	19.5	18.1	17.9	18.1	14.1

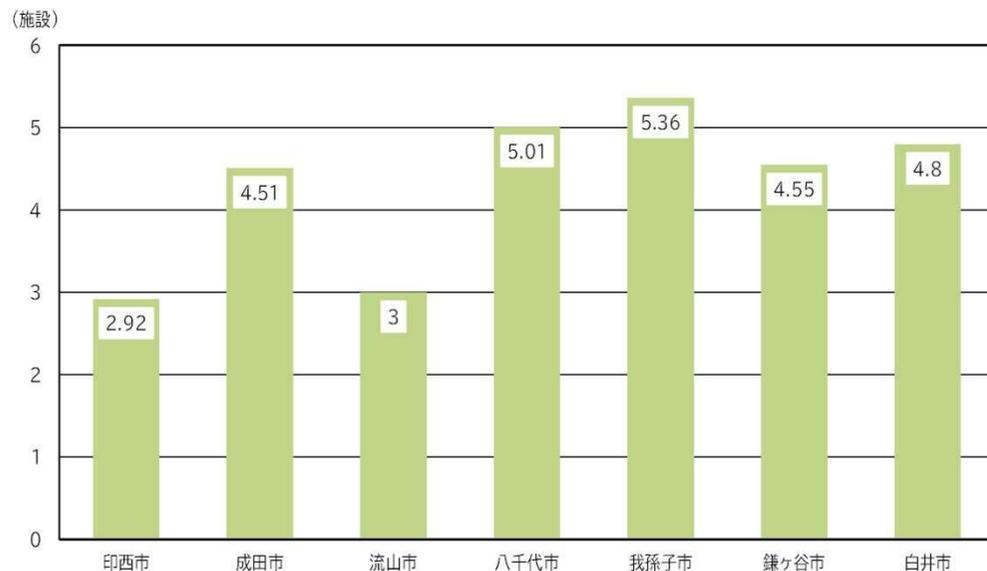
出典：厚生労働省「地域包括ケア
「見える化」システム」

※各年 3月31日時点

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（子育て・教育・健康福祉）–

人口10万人当たりの病院数

- 人口10万人あたりの病院数は2.92と類似団体の中で最も低い。



※病院数は令和6（2024）年3月31日時点、人口は令和2（2020）年国勢調査総人口に基づく

出典：日本医師会「地域医療情報サイト」

人口10万人当たりの歯科数

- 人口10万人当たりの歯科数は38.01と類似団体の中で最も低い。



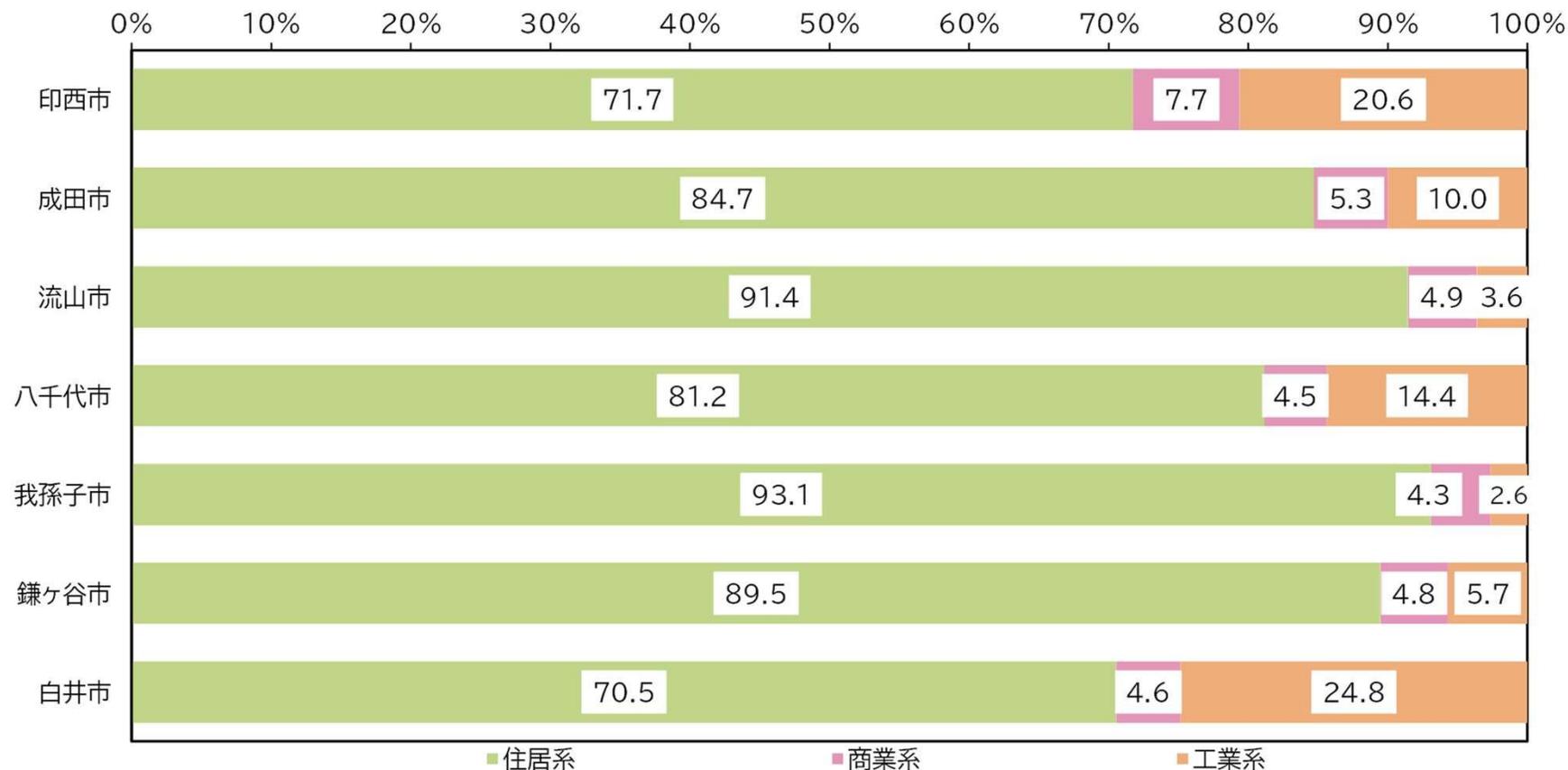
※病院数は令和6（2024）年3月31日時点、人口は令和2（2020）年国勢調査総人口に基づく

出典：日本医師会「地域医療情報サイト」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（都市機能）–

都市計画用途地域別面積の構成比

- 都市計画用途地域別面積に占める商業系用途地域面積の構成比は7.7%と類似団体の中で最も高い。



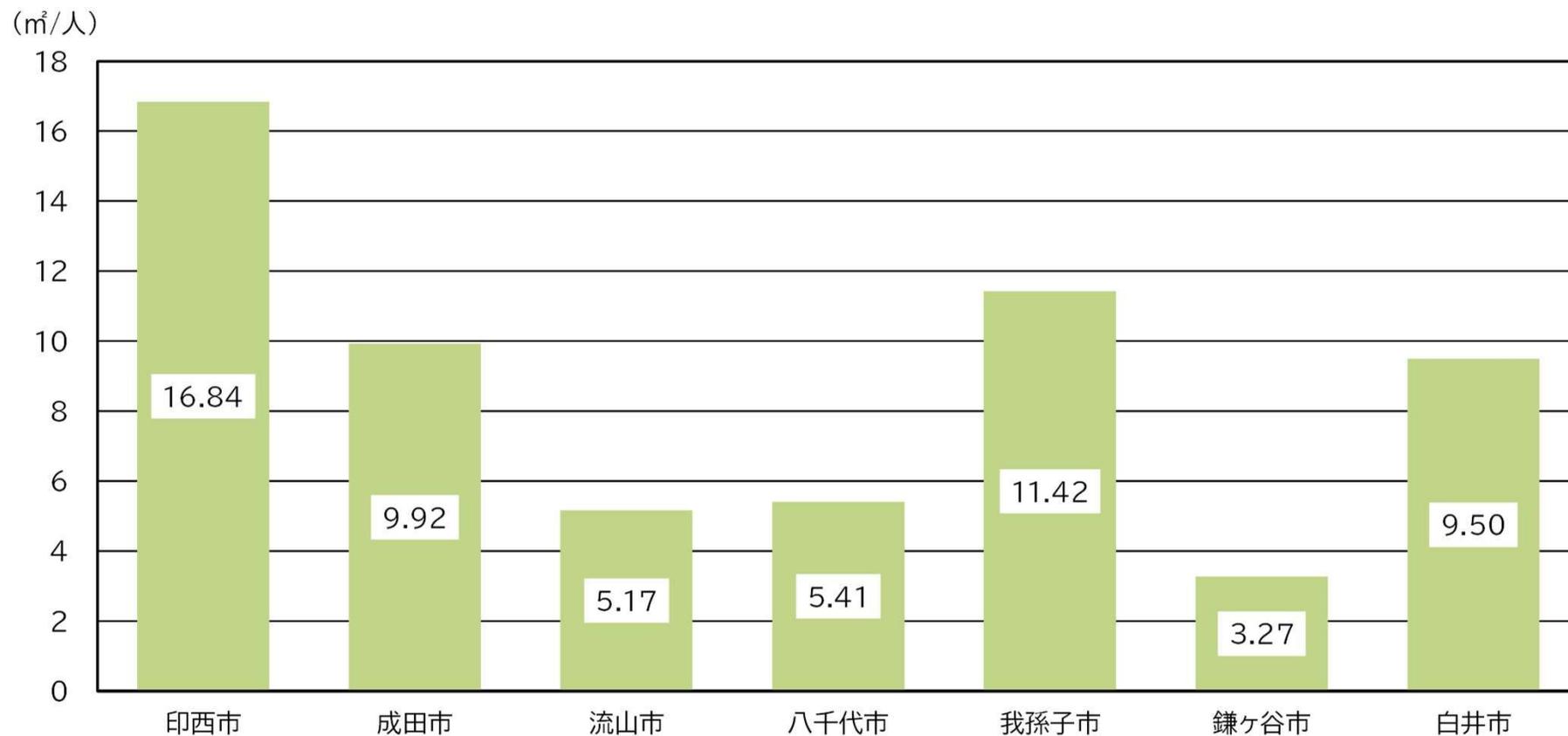
※令和5（2023）年3月31日時点

出典：国土交通省「令和5年都市計画現況調査」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（都市機能）–

1人当たり公園面積

- 1人当たり公園面積は16.84㎡/人と類似団体の中で最も高い。



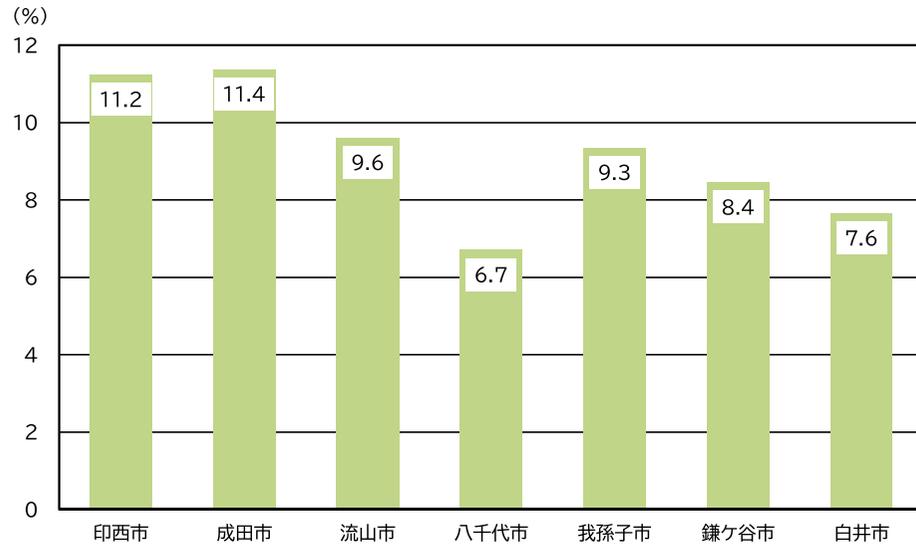
※令和4（2022）年3月31日時点

出典：千葉県「市町村別都市公園整備状況」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（都市機能）–

空き家率

- 空き家率は11.2%と類似団体の中で成田市（11.4%）に次いで2番目に高い。

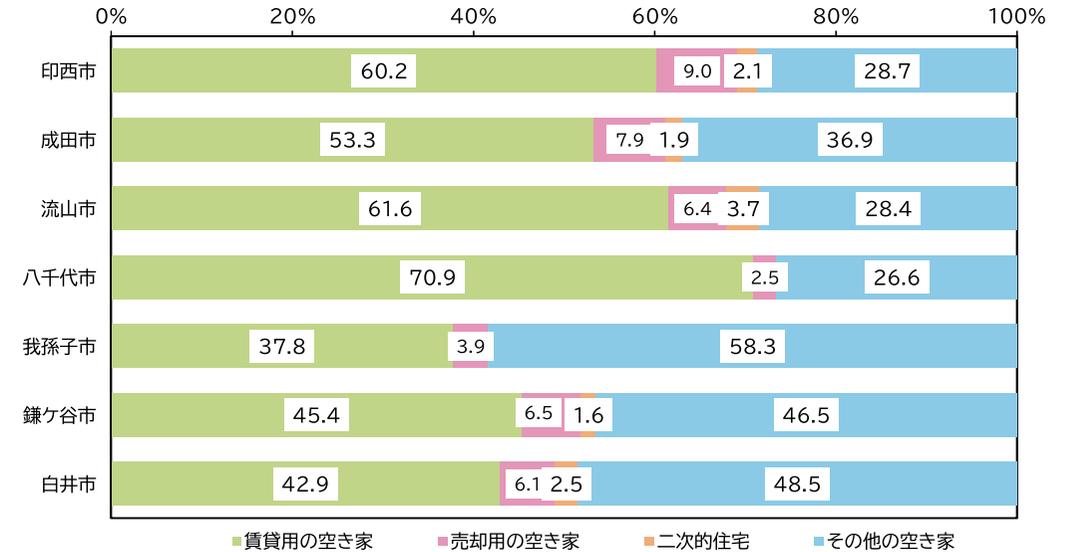


※令和5（2023）年10月1日時点

出典：総務省「住宅・土地統計調査」

空き家の住宅種類別構成比

- 空き家に占める売却用の空き家は9.0%と類似団体の中で最も高い。



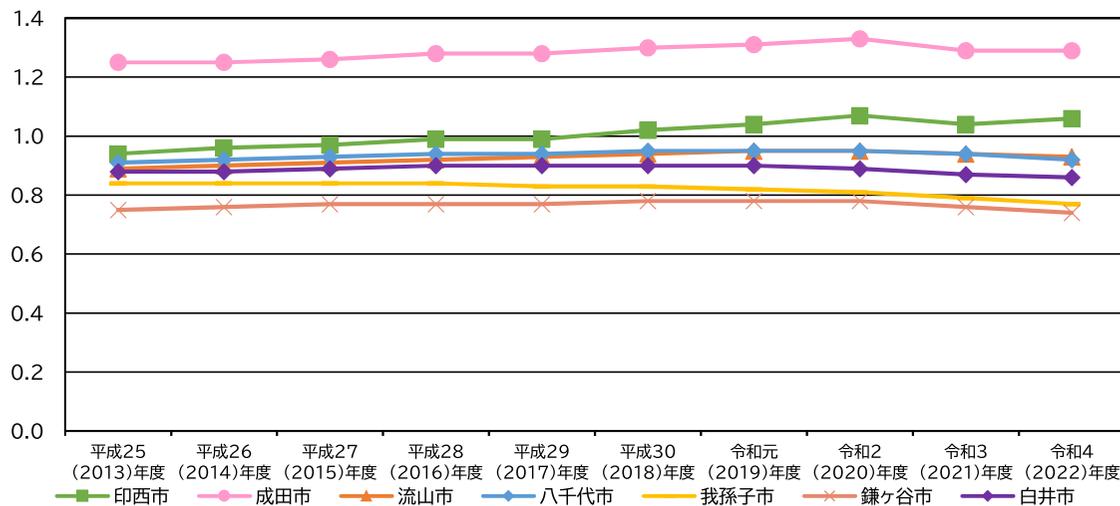
※令和5（2023）年10月1日時点

出典：総務省「住宅・土地統計調査」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（行財政）–

財政力指数の推移

- 平成30（2018）年度以降、財政力指数が1.00を上回っており、令和4（2022）年度の財政力指数（1.06）は類似団体の中で成田市（1.29）に次いで高い。



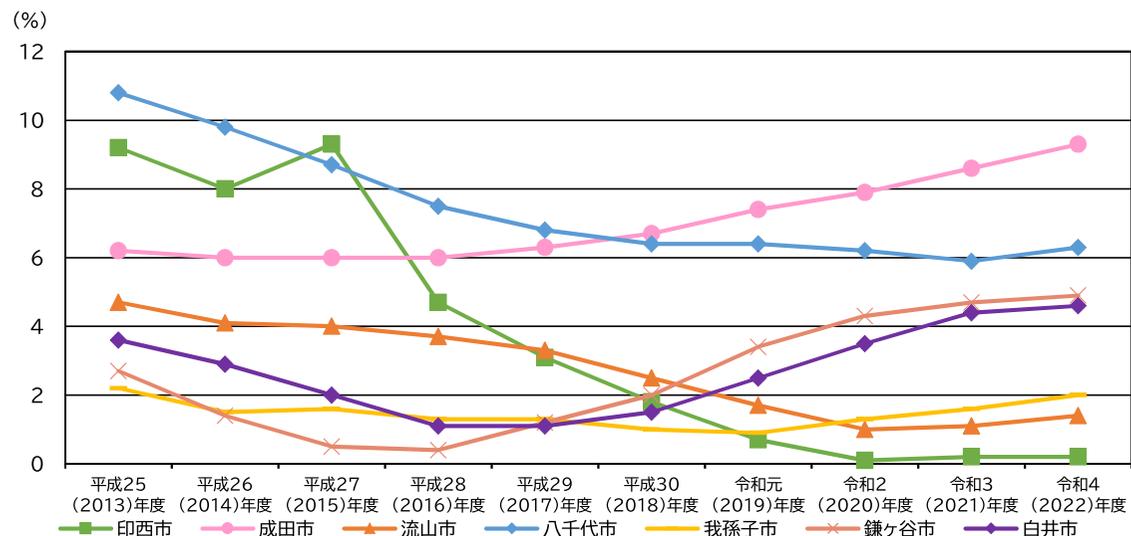
	印西市	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
平成25 (2013)年度	0.94	1.25	0.89	0.91	0.84	0.75	0.88
平成26 (2014)年度	0.96	1.25	0.90	0.92	0.84	0.76	0.88
平成27 (2015)年度	0.97	1.26	0.91	0.93	0.84	0.77	0.89
平成28 (2016)年度	0.99	1.28	0.92	0.94	0.84	0.77	0.90
平成29 (2017)年度	0.99	1.28	0.93	0.94	0.83	0.77	0.90
平成30 (2018)年度	1.02	1.30	0.94	0.95	0.83	0.78	0.90
令和元 (2019)年度	1.04	1.31	0.95	0.95	0.82	0.78	0.90
令和2 (2020)年度	1.07	1.33	0.95	0.95	0.81	0.78	0.89
令和3 (2021)年度	1.04	1.29	0.94	0.94	0.79	0.76	0.87
令和4 (2022)年度	1.06	1.29	0.93	0.92	0.77	0.74	0.86

出典：総務省「市町村決算カード」

2. 基礎調査結果 –市の現状や特性等の整理と分析：調査結果（行財政）–

実質公債費比率

- 実質公債費比率は平成25（2013）年度以降減少傾向にあり、令和4（2022）年度の実質公債費比率（0.2）は類似団体の中で最も低い。



	印西市	成田市	流山市	八千代市	我孫子市	鎌ヶ谷市	白井市
平成25 (2013)年度	9.2	6.2	4.7	10.8	2.2	2.7	3.6
平成26 (2014)年度	8.0	6.0	4.1	9.8	1.5	1.4	2.9
平成27 (2015)年度	9.3	6.0	4.0	8.7	1.6	0.5	2.0
平成28 (2016)年度	4.7	6.0	3.7	7.5	1.3	0.4	1.1
平成29 (2017)年度	3.1	6.3	3.3	6.8	1.3	1.2	1.1
平成30 (2018)年度	1.8	6.7	2.5	6.4	1.0	2.0	1.5
令和元 (2019)年度	0.7	7.4	1.7	6.4	0.9	3.4	2.5
令和2 (2020)年度	0.1	7.9	1.0	6.2	1.3	4.3	3.5
令和3 (2021)年度	0.2	8.6	1.1	5.9	1.6	4.7	4.4
令和4 (2022)年度	0.2	9.3	1.4	6.3	2.0	4.9	4.6

出典：総務省「市町村決算カード」

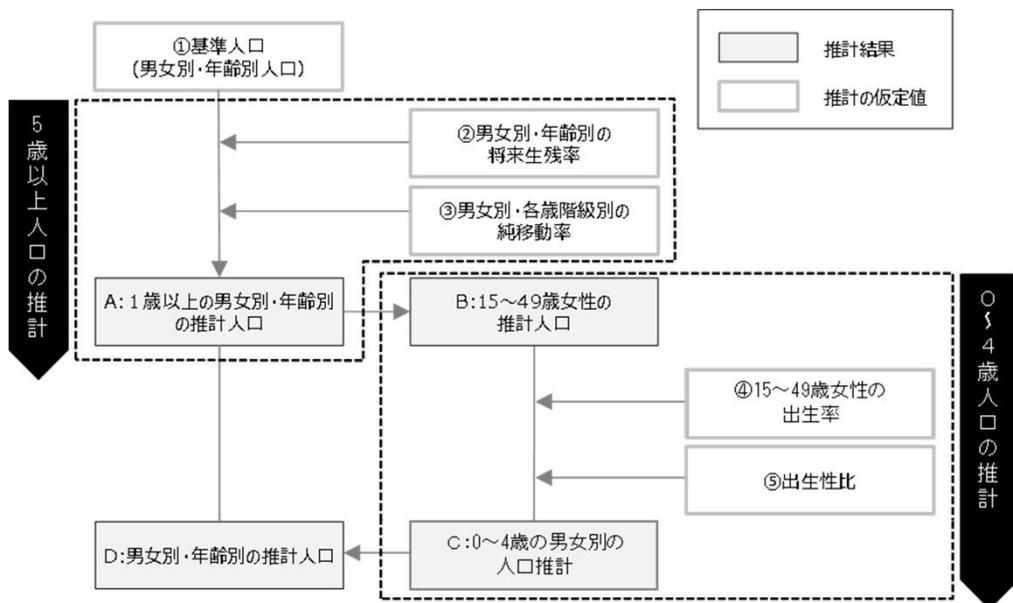
2. 基礎調査結果 –市の人口や世帯数等の推移の整理と今後の推計：実施概要–

- **目的**：今後の市の人口増減が与える影響や想定すべき新たな課題について検討する基礎データとする
- **実施推計**：①全体推計、②地区別推計、③個別推計を実施

※ベース推計は令和7（2025）年1月27日時点の結果であり、現在、社会移動等の状況を踏まえてシナリオ推計を作成中

	①全体推計	②地区別推計	③個別推計
推計方針	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ベース推計：最新人口を基に最も想定しうる将来人口・世帯数推計を実施 ✓ シナリオ推計：ベース推計を踏まえ、人口変動要因（出生率・移動率）の仮定値を変更し、複数シナリオを設定 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ベース推計：最新人口を基に最も想定しうる将来人口推計を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①全体推計の「ベース推計」を基に以下の個別推計を実施 <ul style="list-style-type: none"> ● 介護需要推計 ● 扶助費推計 ● 労働者供給量推計 ● 学校需要推計 ● 学校施設等公共施設需要予測

- **推計方法**：コーホート要因法により実施



- **仮定値の条件設定**

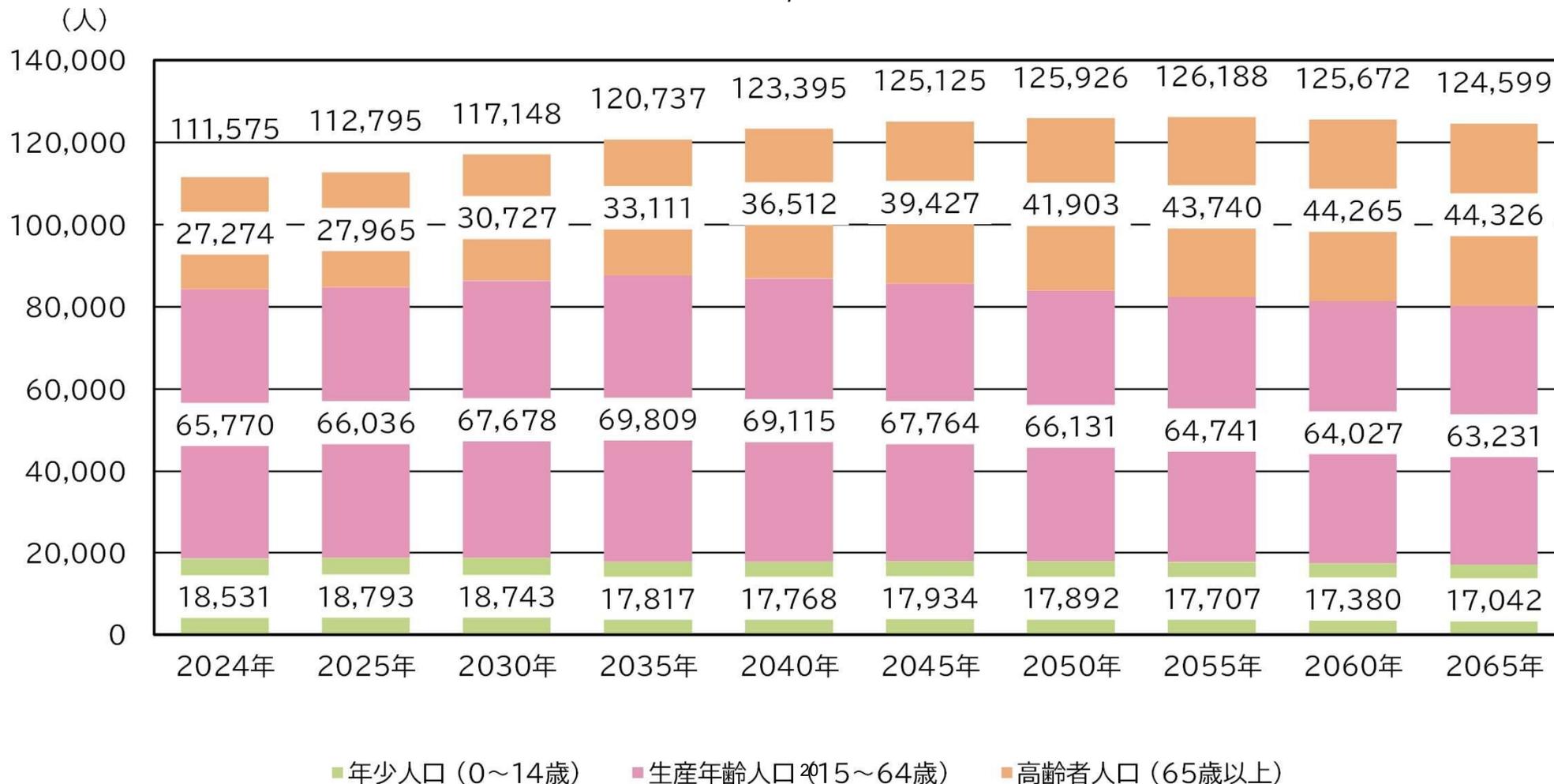
基準人口	引用元：「住民基本台帳人口」令和6（2024）年9月30日時点
子ども女性性比	引用元：「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所） ※2050年以降の仮定値：2050年の数値を固定
0-4歳性比	引用元：「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所） ※2050年以降の仮定値：2050年の数値を固定
生存率	引用元：「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所） ※2050年以降の仮定値：2045年～2050年の数値を固定
純移動率	引用元：「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所） ※2050年以降の仮定値：2045年～2050年の数値を固定
推計期間	2065年まで

2. 基礎調査結果 -市の人口や世帯数等の推移の整理と今後の推計：推計結果概要-

全体推計（ベース推計）結果

※ベース推計は令和7（2025）年1月27日時点の結果であり、
現在、社会移動等の状況を踏まえてシナリオ推計を作成中

- 総人口は2055年の126,188人をピークに減少に転じ、2065年には124,599人となる。
- 年少人口は2025年の18,793人をピークに減少傾向に転じ、2065年には17,042人となる。
- 生産年齢人口は2035年の69,809人をピークに減少に転じ、2065年には63,231人となる。
- 高齢者人口は2024年以降一貫して増加し、2065年には44,236人となる。

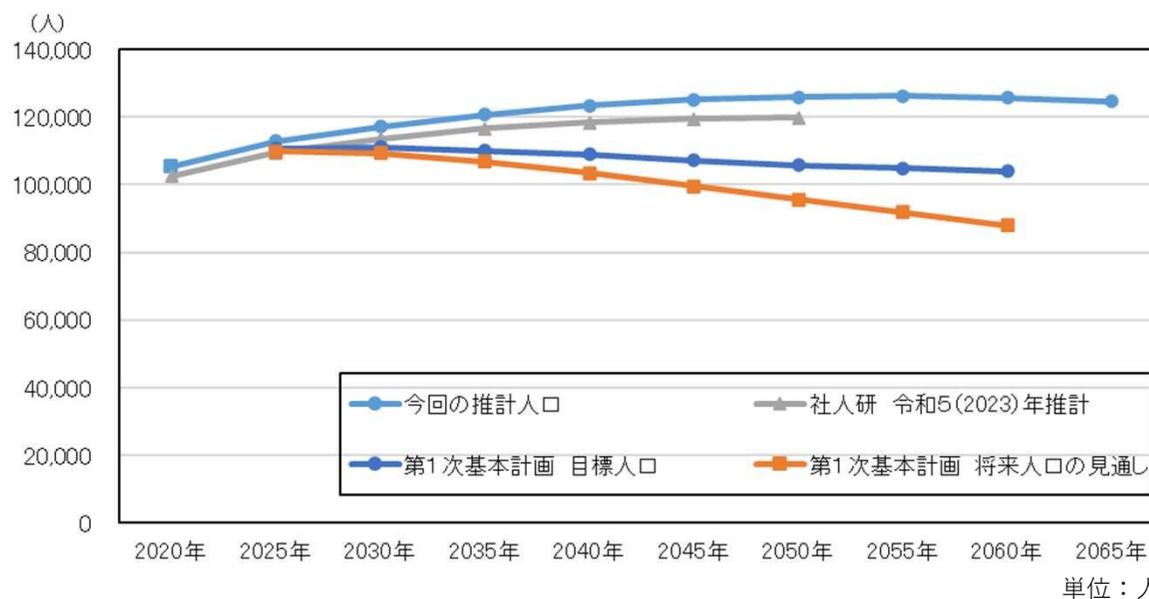


2. 基礎調査結果 –市の人口や世帯数等の推移の整理と今後の推計：推計結果概要–

推計結果の比較（社人研推計・第1次基本計画 目標人口・第1次基本計画 将来人口の見通し）

- 今回の推計人口をこれまでの推計結果と比較すると、**今回の推計人口が最も多く、減少に転じる年も最も遅い。**
- 社人研の推計結果との違いとして、**基準人口**が考えられる。（今回の推計人口は2024年9月30日時点の住民基本台帳人口を基に、社人研令和5（2023）年推計は国勢調査（2020年10月1日時点）を基に推計）
- 第1次基本計画の推計結果との違いとして、**第1次基本計画策定時から現在にかけての市街化調整区域における大幅な転入超過及び転入者の高い出生率**が考えられる。
一方、今後は従来のような新規開発による大幅な転入超過は見込めないため、「シナリオ推計」では新規開発の影響を考慮し、推計する必要がある。

※ベース推計は令和7（2025）年1月27日時点の結果であり、現在、社会移動等の状況を踏まえてシナリオ推計を作成中



推計方法	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
今回の推計人口	105,332	112,795	117,148	120,737	123,395	125,125	125,926	126,188	125,672	124,599
社人研 令和5 (2023)年推計	102,609	109,538	113,660	116,621	118,444	119,404	119,819	—	—	—
第1次基本計画 目 標人口	—	110,700	111,100	110,100	108,900	107,200	105,700	104,800	104,000	—
第1次基本計画 将 来人口の見通し	—	109,800	109,300	106,800	103,400	99,500	95,600	91,800	87,900	—

2. 基礎調査結果 – 第1次基本計画・第2期総合戦略の検証：実施概要 –

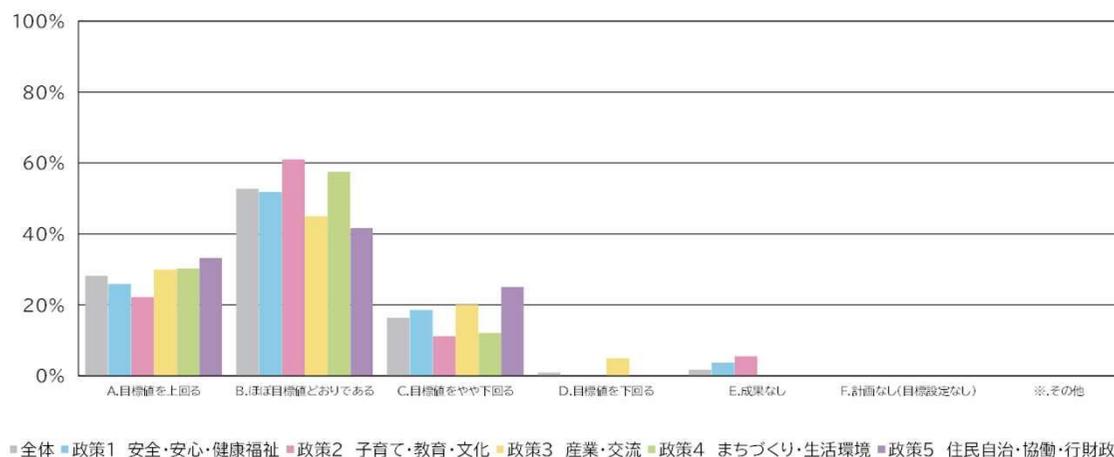
- **目的**：成果指標の状況はアウトカムの実現に対して望ましい成果を挙げているか、成果を挙げていない場合はその要因が何かを明らかにする
- **実施方法**：以下5つのステップに沿って実施（第1次基本計画と第2期総合戦略では指標が重複するため、今回は第1次基本計画に絞って報告）

ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5
前提情報の整理	施策ごとの成果指標分析	指標妥当性チェック	要改善分野の真因把握	評価結果の取りまとめ
第1次基本計画策定時の現状値を確認	施策ごとの成果指標の推移分析	成果指標そのものが施策の成果を図る上で適切かを評価。不適な場合は代替指標案を整理し数値を確認	成果指標が芳しくない場合、施策ごとの取組方針を分析し成果指標への寄与度の低い要因を分析	施策ごとに評価結果を取りまとめ、次期計画期間において強化すべき施策、一定の成果を果たし廃止・統合が妥当な施策を整理

2. 基礎調査結果 – 第1次基本計画・第2期総合戦略の検証：検証結果（基本計画） –

中間目標値（R5）に対する実績値（R5）の達成度

- 中間目標値（R5）に対する実績値（R5）の達成度を見ると、全体としては「A. 目標値を上回る（達成度110%以上）」が28.2%、「B. ほぼ目標値どおりである（達成度80%以上110%未満）」が52.7%となっており、達成度80%以上が80.9%となっている。
- 政策分野ごとに見ると、達成度80%以上割合が最も高いのは「政策4 まちづくり・生活環境」の87.9%であり、次いで「政策2 子育て・教育・文化」（83.3%）、「政策1 安全・安心・健康福祉」（77.8%）と続く。

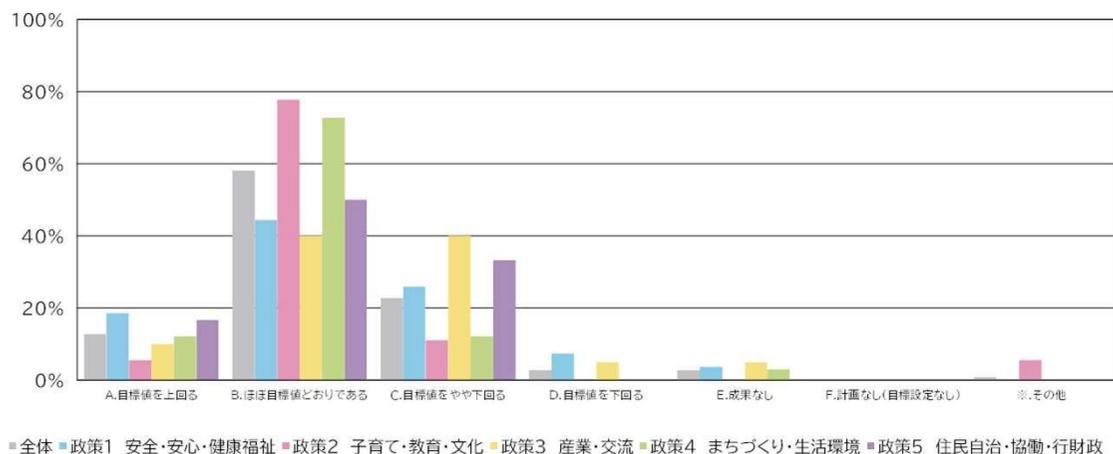


中間目標値(R5)に対する実績値(R5)の達成度	A.目標値を上回る	B.ほぼ目標値どおりである	C.目標値をやや下回る	D.目標値を下回る	E.成果なし	F.計画なし(目標設定なし)	※.その他
全体	28.2%	52.7%	16.4%	0.9%	1.8%	0.0%	0.0%
政策1 安全・安心・健康福祉	25.9%	51.9%	18.5%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
政策2 子育て・教育・文化	22.2%	61.1%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
政策3 産業・交流	30.0%	45.0%	20.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
政策4 まちづくり・生活環境	30.3%	57.6%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
政策5 住民自治・協働・行財政	33.3%	41.7%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2. 基礎調査結果 – 第1次基本計画・第2期総合戦略の検証：検証結果（基本計画） –

目標値（R7）に対する実績値（R5）の達成度

- 目標値（R7）に対する実績値（R5）の達成度を見ると、全体としては「A. 目標値を上回る（達成度110%以上）」が12.7%、「B. ほぼ目標値どおりである（達成度80%以上110%未満）」が58.2%となっており、達成度80%以上が70.9%となっている。
- 政策分野ごとに見ると、達成度80%以上割合が最も高いのは「政策4 まちづくり・生活環境」の84.8%であり、次いで「政策2 子育て・教育・文化」（83.3%）、「政策5 住民自治・協働・行財政」（66.7%）と続く。



目標値(R7)に対する実績値(R5)の達成度	A.目標値を上回る	B.ほぼ目標値どおりである	C.目標値をやや下回る	D.目標値を下回る	E.成果なし	F.計画なし(目標設定なし)	※.その他
全体	12.7%	58.2%	22.7%	2.7%	2.7%	0.0%	0.9%
政策1 誰もが安心して健康で明るく暮らせるまちをつくりま	18.5%	44.4%	25.9%	7.4%	3.7%	0.0%	0.0%
政策2 子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくりま	5.6%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
政策3 地理的優勢性をいかした活力あふれるまちをつくりま	10.0%	40.0%	40.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%
政策4 自然と都市が調和する快適で人にやさしいまちをつくりま	12.1%	72.7%	12.1%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%
政策5 市民と行政が力を合わせ持続可能なまちをつくりま	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2. 基礎調査結果 – 第1次基本計画・第2期総合戦略の検証：検証結果（基本計画） –

中間目標値（R5）に対する実績値（R5）の達成度及び目標値（R7）に対する実績値（R5）の達成度が共に80%未満の指標一覧

政策1【安全・安心・健康福祉】	政策2【子育て・教育・文化】	政策3【産業・交流】	政策4【まちづくり・生活環境】	政策5【住民自治・協働・行財政】
<ul style="list-style-type: none"> ■ 1-3 地域共生社会の実現 ✓ ボランティアセンター登録者数 ✓ 地域支援ネットワーク構築地区数 ■ 1-4 高齢者の生活支援 ✓ いんざい健康ちよきん運動実施人数 ■ 1-5 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進 ✓ 就労相談支援による年間新規就労者数 ■ 1-6健康づくりの推進 ✓ 1日30分以上の運動を週2回以上、1年間以上実施している人の割合 ✓ 1日に5皿以上の野菜料理を食べている人の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2-2 学校教育の充実 ✓ 体力テストにおいてTスコア（標準値）が満足できると判定された項目の割合 ■ 2-5生涯学習の推進と青少年の健全育成 ✓ 図書館個人登録率 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3-1 農林業の振興 ✓ 農業産出額 ■ 3-3 起業・雇用の促進 ✓ 創業支援者 ✓ 創業者数 ■ 3-5 定住交流の促進 ✓ 観光資源の活用と観光の振興に関して満足している人の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4-3 道路環境の充実 ✓ 橋梁長寿命化修繕実施数 ■ 4-5 公共交通の充実 ✓ 交通不便地域数 ■ 4-6 公共交通の充実 ✓ イノシシなどによる農産物の被害額 ✓ 捕獲従事者数 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 5-1 市政への参加と地域活動の促進 ✓ 市政への参加に関して満足している人の割合 ■ 5-2人権尊重と男女共同参画社会の実現 ✓ 人権が尊重された暮らしやすいまちの実現に関して満足している人の割合 ■ 5-4 市民サービスの充実 ✓ 市政情報の公表・提供数

2. 基礎調査結果 – 社会経済動向の整理と今後5年間の推測：実施概要 –

- **目的**：国内外の社会経済情勢の動向が今後の本市の中長期的なまちづくりに及ぼす影響を分析する
- **整理・分析項目**：人口推移、産業・経済等、子育て・教育・健康福祉、都市機能、行財政、グローバルから以下の項目を整理・分析

	人口推移	産業・経済等	子育て・教育・健康福祉	都市機能	行財政	グローバル
中項目	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 総人口・世帯数 ✓ 外国人人口 ✓ 自然動態 ✓ 社会動態 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 産業・経済 ✓ 農林業 ✓ 商業 ✓ 工業 ✓ 雇用 ✓ 観光 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子育て・教育 ✓ 健康福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域・ライフスタイル ✓ 交通 ✓ 防災 ✓ 環境 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 財政 ✓ 広域行政 ✓ デジタル 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人口 ✓ 産業・経済 ✓ エネルギー ✓ 環境
主な分析項目	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 総人口、世帯数、平均世帯人員の推移 ✓ 男女別5歳階級別人口構成 ✓ 外国人人口及び外国人人口増減率の推移 ✓ 出生数・合計特殊出生率の推移 ✓ 首都圏の人口の社会増減の推移 ✓ 年代別転入先・転出先の状況 など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実質GDP成長率の推移 ✓ 農業分野における外国人材の受入状況 ✓ 鉱工業生産指数の推移 ✓ 消費総合指数の推移 ✓ 有効求人倍率と完全失業率の推移 ✓ 日本人国内旅行延べ人数の推移 (宿泊・日帰り) など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子供・若者育成支援の基本的な方針・施策 など ✓ 新学習指導要領のポイント(情報活用能力の育成・ICT活用) ✓ 平均寿命と健康寿命の推移 ✓ 医療・福祉サービスの改革プランの概要 など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 収入と自由時間についての考え方の推移 ✓ 都市部・地方部別の一般路線バスの輸送人員、経常収入の推移 ✓ 建設後50年以上経過する社会資本の割合(2020(令和2)年度算出) ✓ 温室効果ガス排出・吸収量 など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実質収支比率の推移 ✓ 地方自治体の総職員数の推移(1994(H6)年～2023(R5)年) ✓ 広域化の取組事例 ✓ 日本における電子政府・電子自治体推進の経緯 など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 世界人口構成別推移 ✓ 世界の実質GDP成長率・インフレ率 ✓ 世界の食料需給の見通し ✓ 気候変動に関する国際的枠組(国連気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定)の概要 など

2. 基礎調査結果 – 国や県の関連計画等の整理と分析：実施概要 –

- **目的**：主たる計画等の内容を精査し策定に関して留意が必要な点を整理・分析する

国の関連計画等				
重点計画・総合戦略等	産業・経済等	子育て・教育・健康福祉	都市機能	行財政
<ul style="list-style-type: none"> ✓ SDGSアクションプラン2023 ✓ デジタル田園都市国家構想総合戦略 ✓ デジタル社会の実現に向けた重点計画 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（2024年改訂版） ✓ 経済財政運営と改革の基本方針2024～賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現～ <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ こども未来戦略 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国土強靱化基本計画 ✓ 防災基本計画 ✓ GX実現に向けた基本方針 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ デジタル行財政改革取りまとめ2024 ✓ 自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画【第3.0版】 ✓ 第33次地方制度調査会における答申 ✓ 社会の変革に対応した地方公務員制度のあり方に関する検討会 <p>など</p>

千葉県関連計画等				
総合計画・総合戦略等	産業・経済等	子育て・教育・健康福祉	都市機能	行財政
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 千葉県総合計画 ✓ 第3期千葉県地方創生総合戦略 ✓ 成田・千葉ニュータウン業務核都市基本構想 ✓ 成田空港・圏央道沿線地域基本計画 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業・経済 ✓ 千葉県印西市基本計画 ■ 農林水産業 ✓ 第6次千葉県農林水産業振興計画 ✓ 第6次印旛地域農林業振興方針 ■ 観光 ✓ 第3次観光立県ちば推進基本計画 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育て・教育 ✓ 千葉県子ども・子育て支援プラン2020 ✓ 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン（千葉県教育振興基本計画） ■ 健康福祉 ✓ 千葉県保健医療計画 ✓ 千葉県高齢者保健福祉計画 ✓ 健康ちば21（第3次） <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通 ✓ 第11次千葉県交通安全計画 ■ 土地利用 ✓ 第5次千葉県国土利用計画・土地利用基本計画 ■ 住宅 ✓ 第4次千葉県住生活基本計画 ■ 環境 ✓ 千葉県環境基本計画 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタル ✓ 千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略 ■ デジタル ✓ 千葉県行財政改革計画 ✓ 千葉県公共施設等総合管理計画 <p>など</p>

2. 基礎調査結果 –各課で策定している計画等の整理と分析：実施概要–

- **目的**：各課で策定している計画・方針等を整理し、総合計画との関連事項について分析することで、各課の計画・方針と基本計画との有機的な連動を目指す
- **整理・分析計画一覧**：

産業・経済等	子育て・教育・健康福祉	都市機能	行財政
<ul style="list-style-type: none"> ■産業・経済 ✓ 経営発達支援計画 ■農業 ✓ 農地等の利用の最適化の推進に関する指針 ■雇用 ✓ 印西市創業支援等事業計画 ■観光 ✓ 印西市シティプロモーションプラン <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て・教育 ✓ 「いんざい子育てプラン」第2期印西市子ども・子育て支援事業計画（中間見直し） ✓ 印西市教育大綱 ✓ 印西市教育振興基本計画 ✓ 印西市子ども読書活動推進計画 ✓ 印西市学校適正規模・適正配置基本方針 ■健康福祉 ✓ 印西市地域福祉計画 ✓ 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 ✓ 印西市障がい者プラン ✓ いのち支えあういんざい自殺対策計画 ✓ 印西市成年後見制度利用促進基本計画 ✓ 健康いんざい21～印西市健康増進・食育推進計画～ ✓ 印西市国民健康保険第3期データヘルス計画・印西市国民健康保険第4期特定健康診査等実施計画 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■交通 ✓ 印西市交通安全計画 ✓ 印西市地域公共交通計画 ✓ 印西市自転車安全総合推進計画 ■都市利用 ✓ 印西市都市マスタープラン ✓ 印西市景観まちづくり基本計画 ■住宅 ✓ 印西市住生活基本計画 ■コミュニティ ✓ 印西市国際化推進方針 ✓ 印西市男女共同参画プラン ■防災 ✓ 印西市地域防災計画 ■環境 ✓ 印西市環境基本計画 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■デジタル ✓ 印西市DX推進方針 ■財政 ✓ 印西市行政改革大綱 ✓ 印西市公共施設等総合管理計画 <p style="text-align: right;">など</p>

3. 市民ニーズに係る調査結果 – 市民会議・中学生市民会議：実施概要 –

市民会議

目的	✓ 本市の将来都市像「住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで」実現に向けて、ワークショップを通じて印西市在住の市民から本市の魅力・課題や本市の理想の将来像に対する意見を聴取
参加者数	✓ 市内在住男女54名
実施日時 場所	✓ 令和6年8月31日（土）13時30分～15時30分 ✓ イオンモール千葉ニュータウン モール棟3階イオンホール
グループ ワーク テーマ	① まちの魅力や課題 「印西市ってどんなまち？まちの魅力や課題を考えてみよう！」 ② まちのこれから 「印西市の理想の未来像 今後も印西市に住み続けるために10年後、印西市はどんなまちになってほしい？」

中学生市民会議

目的	✓ 本市の将来都市像「住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで」実現に向けて、中学生の視点からまちの魅力・課題を把握し、将来都市像実現に向けた具体的な取組を特にカーボンニュートラルの観点から聴取
参加者数	✓ 市内中学校に在学する中学生33名
実施日時 場所	✓ 令和6年7月31日（水）14時～16時 ✓ 印西市役所別館1階 農業委員会会議室
グループ ワーク テーマ	① まちの魅力・課題 「印西市ってどんなまち？まちの魅力や課題を考えてみよう！」 ② まちの未来の姿 「2050年のまちの姿はどのようにあってほしい？」 ③ カーボンニュートラル 「2050年の脱炭素化社会の実現に向けて、一人ひとりができる取組を考えてみよう！」

3. 市民ニーズに係る調査結果 – 市民会議：実施結果概要 –

魅力（抜粋）

【まちづくり・生活環境】

- ✓ 主要道路の歩道と車幅が広い。
- ✓ 商業施設が多く買い物が便利である。

【子育て・教育・文化】

- ✓ 子育て世代が多く安心感がある。
- ✓ 共働きでも生活しやすい。

【安全・安心・健康福祉】

- ✓ 犯罪が少なく、パトカーの巡回が多く、治安が良い。
- ✓ 地盤が固く災害に強い。

【産業・交流】

- ✓ 文化ホールでの催しものが多様である。
- ✓ データセンターなど企業が増えている。

【住民自治・協働・行財政】

- ✓ 公民館や図書館、児童センターがきれいで使いやすい。
- ✓ 行政手続きの電子化が進んでいる。

課題（抜粋）

【まちづくり・生活環境】

- ✓ 電車の運賃が高く終電が早い。
- ✓ 車が無いと生活が不便になる。

【子育て・教育・文化】

- ✓ 子どもの数に対して公園が少ない。
- ✓ 市内で出産できる場所が少ない。

【安全・安心・健康福祉】

- ✓ 病児保育が予約困難である。
- ✓ シニアに手当てが薄い。

【産業・交流】

- ✓ 産業種に偏りがある。
- ✓ ベッドタウンになっていて、地元で働く人が少ない。

【住民自治・協働・行財政】

- ✓ 住民同士の交流の機会が少ない。
- ✓ 情報発信のデジタル化が弱い。

魅力と課題を踏まえて未来の姿を検討

分野	グループ	キャッチフレーズ
まちづくり・生活環境	Aグループ Fグループ	アップデート（創意工夫）ができるまち 住民が誇れる町
子育て・教育・文化	Bグループ Dグループ	自然と便利さが調和する誰でも楽しめるまち 魅力的な学校や文化施設のあるまち
安全・安心・健康福祉	Cグループ	産まれる前から天国に行くまで安心して住み続けられるまち
産業・交流	Eグループ	希望が実現できるまち
住民自治・協働・行財政	Gグループ	世代や国籍関係なく交流できる自然・公園豊かなデジタル推進シティ

3. 市民ニーズに係る調査結果 – 中学生市民会議：実施結果概要 –

魅力（抜粋）

【自然豊かで公園が充実している】

- ✓ 緑が多く、自然が豊かで、田んぼや花がきれいな場所が多い。また、吉高の大桜や印旛沼などの自然景観も魅力的である。

【災害に強く安全安心なまち】

- ✓ 地盤が固く、地震に強い地域であり、停電が起きにくいなどの安全性が高い。

【東京都内と成田空港へのアクセスのよさ】

- ✓ ふれあいバス等の交通手段が充実しており、本数も多いため、高齢者にも優しい交通環境が整っている。さらに、東京都内や成田空港へのアクセスも良好である。

【商業施設の充実により買い物が便利】

- ✓ コストコや日本一大きいジョイフル、ビッグホップなどの大型ショッピングモールが多く、近場で何でも揃う便利さがある

課題（抜粋）

【一部の地域に人口集中の傾向がある】

- ✓ 人口が多い地域と少ない地域があり、特に千葉ニュータウンと他の地域での差が顕著である。

【交通事故への不安がある】

- ✓ 歩道が狭く暗い場所が多く、車の渋滞や信号の少なさが問題である。

【学校施設の整備が行き届いていない】

- ✓ 生徒数の差が大きく、教育環境の質が地域によって異なる。

【公共交通機関の利便性に不満】

- ✓ 電車やバスの本数が少なく、運賃が高いことが問題である。

魅力と課題を踏まえて未来の姿を検討

未来の姿	内容
子育てしやすいまち	子どもが生活しやすく、遊具やトイレがきれいである。 仕事が忙しい親のための送迎バスや、給食の無料化などの支援が充実している。
高齢者が安心して暮らせるまち	高齢者が移動しやすく、バスやタクシーの利用が便利である。 バリアフリー対応や街灯の増設により、安全で明るい環境が整っている。
だれもが移動しやすいまち	電車賃が安く、交通手段が多様である。 駅の増設や歩行者と自転車の分離、バス路線の拡充が進んでいる。
市内外から訪れたいくなる 伝統文化があるまち	伝統を継承し、夏祭りや地域交流が盛んである。 印西名物や桜の名所があり、文化活動が地域全体で行われている。
自然環境に配慮したまち	リサイクルの推進やカーボンニュートラルの実現に取り組んでいる。 豊かな自然と住宅地が共存し、ゴミのない清潔な環境が保たれている。

3. 市民ニーズに係る調査結果 – 中学生市民会議：実施結果概要 –

脱炭素社会実現に向けて一人ひとりができる取組（抜粋）

【3RやSDGsが学べる環境学習の機会を創出する】

- ✓ YouTubeなどを活用しておもしろく学ぶ機会を作る。
- ✓ SDGsや3R（リデュース・リユース・リサイクル）を意識した学びを促進する。
- ✓ 学校のICT研究部でジャガイモを使った研究を行う。
- ✓ カーボンニュートラルを学べる機会を提供する。

【節電・節水などの省エネを意識する】

- ✓ 節水できる機械を導入し、エアコンの使用回数や時間を制限する。
- ✓ エアコンの設定を適正温度にし、部屋の電気をつけっぱなしにしないようにする。
- ✓ 家ではなるべく家族でまとめ買い、節電・節水を意識する。
- ✓ LEDなどの省エネ家電を使い、電気の消し忘れをなくす。

【ゴミの適切な処理やフードロス削減でゴミの量を減らす】

- ✓ 食品ロスを減らし、賞味・消費期限を確認する。ゴミを減らすために食べ残さないようにし、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践する。
- ✓ 使わない衣服を雑巾にし、メルカリを使って不要品を再利用する。
- ✓ ゴミの分別を学校で行い、まだ使える古着などを回収する場所を作る。

【自家用車によるCO₂排出量を減らす】

- ✓ バスや電車などの公共交通機関を使う。
- ✓ 電気自動車や水素で動く自動車の普及を促進する。
- ✓ 自転車でコンビニに行くなど、車ではなく自転車や徒歩で移動する。
- ✓ 近場に行くときは車を使わず、公共交通機関を利用する。

【再生可能エネルギーと発電方法を工夫する】

- ✓ 太陽光パネルの老朽化について研究し、バイオマス発電を推進する。
- ✓ 太陽光発電などの再生可能エネルギーを学校に導入する。
- ✓ 使用済みの食油を再利用し燃料として活用する。
- ✓ 市の名産のコスモスを活かしてバイオ燃料を作り、再生可能エネルギーの利用を促進する。

3. 市民ニーズに係る調査結果 - アンケート調査：実施概要 -

	①市内在住者向け若者アンケート	②市外在住者向けアンケート	③転出入者向けアンケート
目的	✓ 市内在住の若者を対象としたアンケート調査を通じて若者の視点からの本市の魅力や課題及び市外への転出意向を明らかにする	✓ 市内への通勤・通学者を含む市外在住者へのアンケート調査を通じて市内への来訪の実態やニーズを明らかにする	✓ 転出入者を対象としたアンケート調査を通じて転出要因（相対的弱み）と転入要因（相対的強み）を明らかにする
調査対象	✓ 本市に在住する18歳以上29歳以下の市民2,000人（住民基本台帳から無作為に抽出）	✓ Webアンケート事業者が保有するモニターのうち、印西市外(千葉県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県)に在住し、通勤・通学等で日常的に本市に来訪している人、過去本市へ来訪したことがある人（依頼数：74,179人）	✓ 市内から市外への転出者及び市外から市内への転入者
調査期間	✓ 令和6年9月20日～10月6日	✓ 令和6年12月11日～12月16日	✓ 令和6年9月24日～12月25日
実施方法	✓ Web調査（QRコード及び回答URLが掲載された依頼状を上記の調査対象に発送）	✓ Web調査（Webアンケート事業者保有モニターを活用）	✓ Web調査（市民課窓口にQRコード等を設置し、転出入手続き中に回答を依頼）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 属性 ✓ 性別、年代、職業、同居家族、居住地区、在住年数、通勤・通学先 ■ 印西市の住みやすさ・定住意向 ✓ 住みやすさ、愛着・誇り、今後の居住意向・転出意向、就職の際の重要視事項、若い世代が印西市に住み続けるために必要な取組 ■ 印西市の広報活動 ✓ 印西市の情報を知る主なツール、広報いんざい・印西市HP・印西市公式LINE・印西市公式Xの利用状況 ■ 結婚・出産・子育て ✓ 結婚有無、将来の結婚願望、マッチングアプリの利用状況、子どもの有無、結婚・出産・子育ての希望をかなえるために必要な取組 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 属性 ✓ 性別、年代、職業、同居家族、居住地、在住年数、通勤・通学先、住宅形態 ■ 印西市からの転出理由・Uターン意向 ✓ 印西市への在住経験、印西市からの転出理由 ■ 現在お住いの市区町村での生活 ✓ 転入のきっかけ、生活に不満・不便・不安を感じる分野 ■ 現在お住いの市区町村からの転出意向 ✓ 今後の転出意向 ■ 相対的な印西市の魅力・課題 ✓ 現在お住いの市区町村と比較した印西市の魅力・課題 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 属性 ✓ 性別、年代、職業、転出先、転入元、同居家族、居住地区、在住年数、通勤・通学先 ■ 転出入について 【転出者】 ✓ 転出入のきっかけ・理由、生活上の不満・不安、将来の印西市へのUターン意向 【転入者】 ✓ 転入に当たり利用した相談窓口・必要な施策
回収数	✓ 641件（回収率：32.1%）	✓ 441件（回収率：0.6%）	✓ 8件（転出者）、33件（転入者）

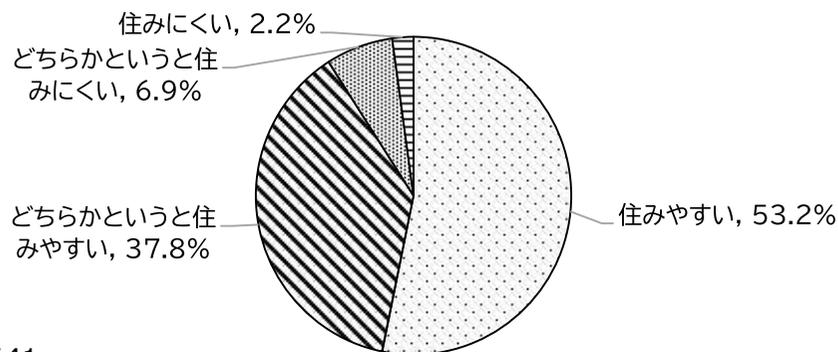
3. 市民ニーズに係る調査結果 - アンケート調査：調査結果概要 -

	①市内在住者向け若者アンケート	②市外在住者向けアンケート	③転出入者向けアンケート
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 印西市の住みやすさ ✓ 「住みやすい」 + 「どちらかという 住みやすい」の合計は91.0%と肯定的 な意見が多い ■ 住んでいる地区への愛着・誇り ✓ 「感じている」 + 「どちらかという 感じている」の合計は83.3%と肯定的 な意見が多い ■ 居住意向 ✓ 「住み続けたい」 + 「どちらかという と住み続けたい」の合計は73.5%と肯 定的な意見が多い ■ 若い世代が印西市に住み続けるために 必要な取組 ✓ 「公共交通の充実」、「子育て支援の 充実」、「雇用機会の拡大」の回答が 多い ■ 結婚・出産・子育ての希望を叶えるた めに力を入れる必要がある取組 ✓ 「結婚に対する経済的な支援」、「経 済活動の活性化（若い世代の雇用確保 など）、「子育て・教育における経済 的支援の充実（多子世帯に対する助 成・医療費の助成・奨学金制度の充実 など）」の回答が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の居住地に転入したきっかけ ✓ 「結婚」、「親族との同居・近居（介 護・看護を除く）」、「転勤」、「同 居家族の都合（両親の転勤など）」の 回答が多い ■ 現在の居住地に転入した理由 ✓ 「通勤・通学の利便性が高い」、「家 族・親戚がいる」、「希望条件に合う 物件がある」の回答が多い ■ 相対的な印西市の魅力 ✓ 「自然が豊かである」、「食料品・日 用品などの買い物が便利である」、 「市の将来の発展が期待できる」の回 答が多い ■ 相対的な印西市の課題 ✓ 「公共交通が不便である」、「自然が 豊かでない」、「誇れる歴史・伝統が ない」の回答が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 転出の主なきっかけ ✓ 「就職」の回答の他、「転職（起業・ 独立などを含む）」、「転勤」などが 挙げられる ■ 印西市からの転出を考えた理由 ✓ 「通勤・通学が負担である」、「希望 する就職先・転職先が無い」回答が多 い ■ 転入の主なきっかけ ✓ 「親族との同居・近居」、「転職（起 業・独立などを含む）」、「結婚」、 「子どもの教育（入園・入学など）」 などが挙げられる ■ 印西市を転入先として選んだ理由 ✓ 「希望条件にあう物件がある」、「家 族・親戚がいる」、「通勤・通学の利 便性が高い」の回答が多い

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ①市内在住者向け若者アンケート：調査結果 -

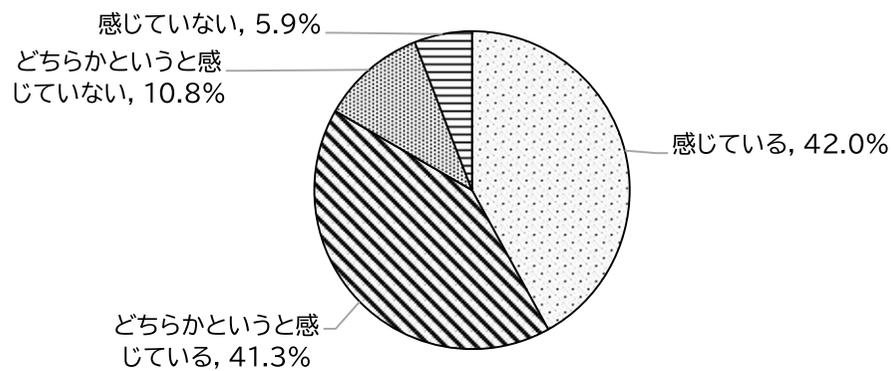
住みやすさ

- 印西市の「住みやすさ」について、**最も多い回答は「住みやすい」(53.2%)**であり、次いで「どちらかという住みやすい」(37.8%)、「どちらかという住みにくい」(6.9%)となっている。



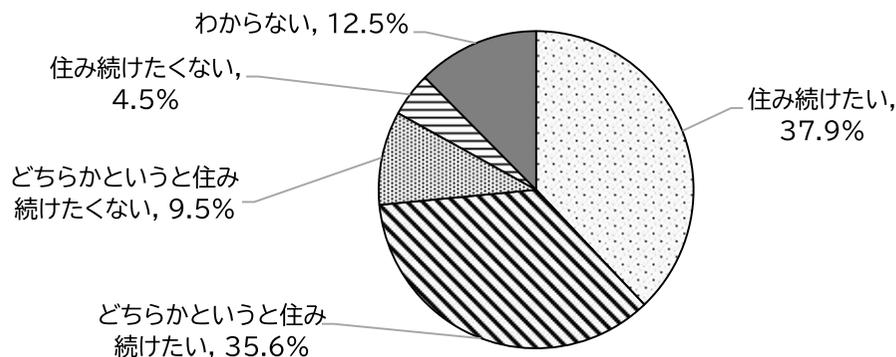
愛着・誇りを感じているか

- 住んでいる地区に愛着・誇りを感じているかについて、**最も多い回答は「感じている」(42.0%)**であり、次いで「どちらかというと感じている」(41.3%)、「どちらかというと感じていない」(10.8%)となっている。



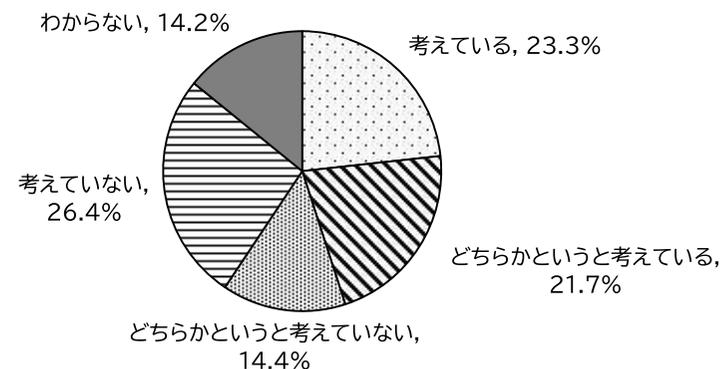
居住意向

- 今後も印西市に住み続けたいかについて、**最も多い回答は「住み続けたい」(37.9%)**であり、次いで「どちらかという住み続けたい」(35.6%)、「わからない」(12.5%)となっている。



転出意向

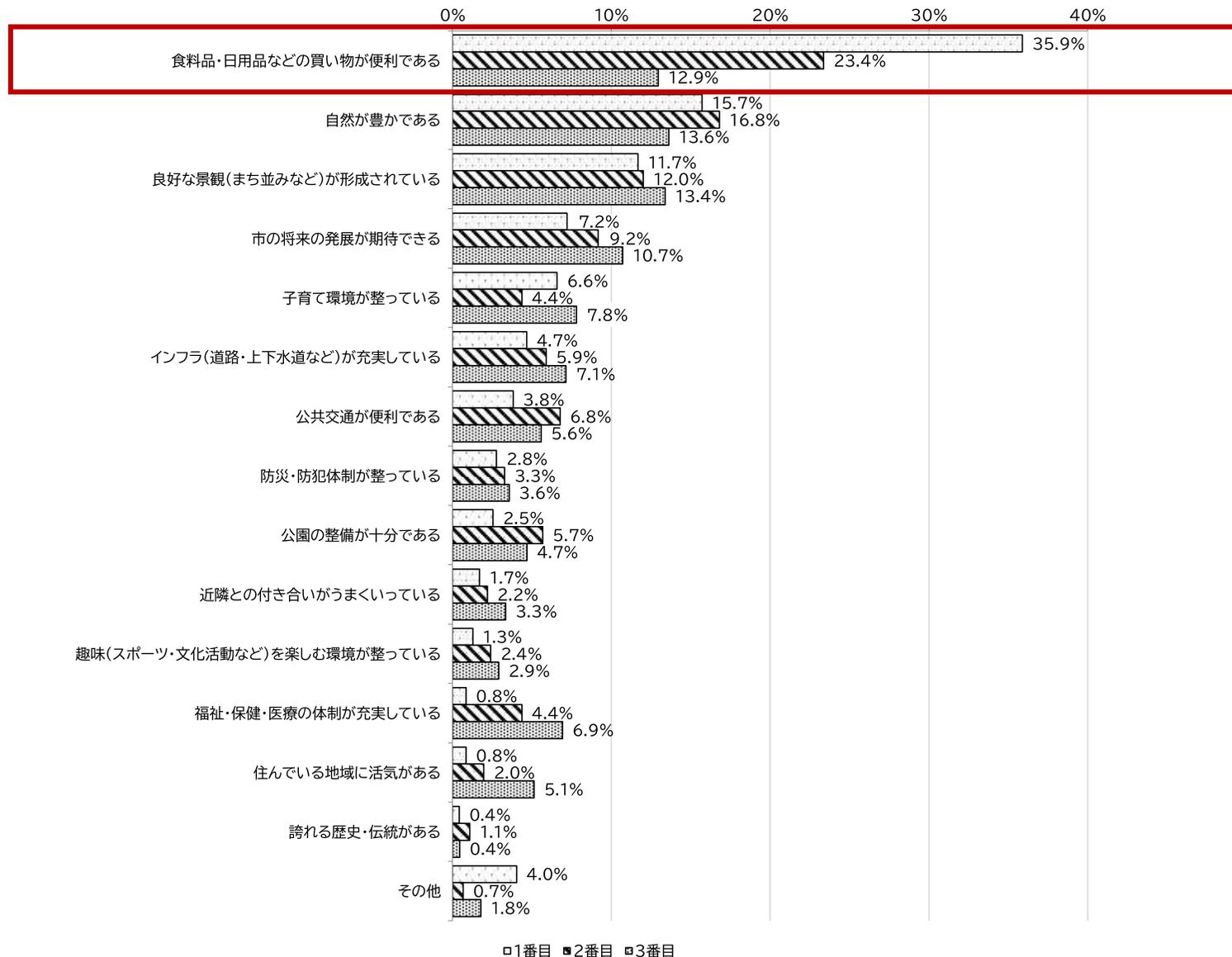
- 今後市外への転出を考えているかについて、**最も多い回答は「考えていない」(26.4%)**であり、次いで「考えている」(23.3%)、「どちらかというと考えている」(21.7%)となっている。



3. 市民ニーズに係る調査結果 - ①市内在住者向け若者アンケート：調査結果 -

住み続けたい理由

- 住み続けたい理由について、1番目で最も多い回答は「食料品・日用品などの買い物が便利である」(35.9%)であり、次いで「自然が豊かである」(15.7%)、「良好な景観(まち並みなど)が形成されている」(11.7%)となっている。



1番目：n=471

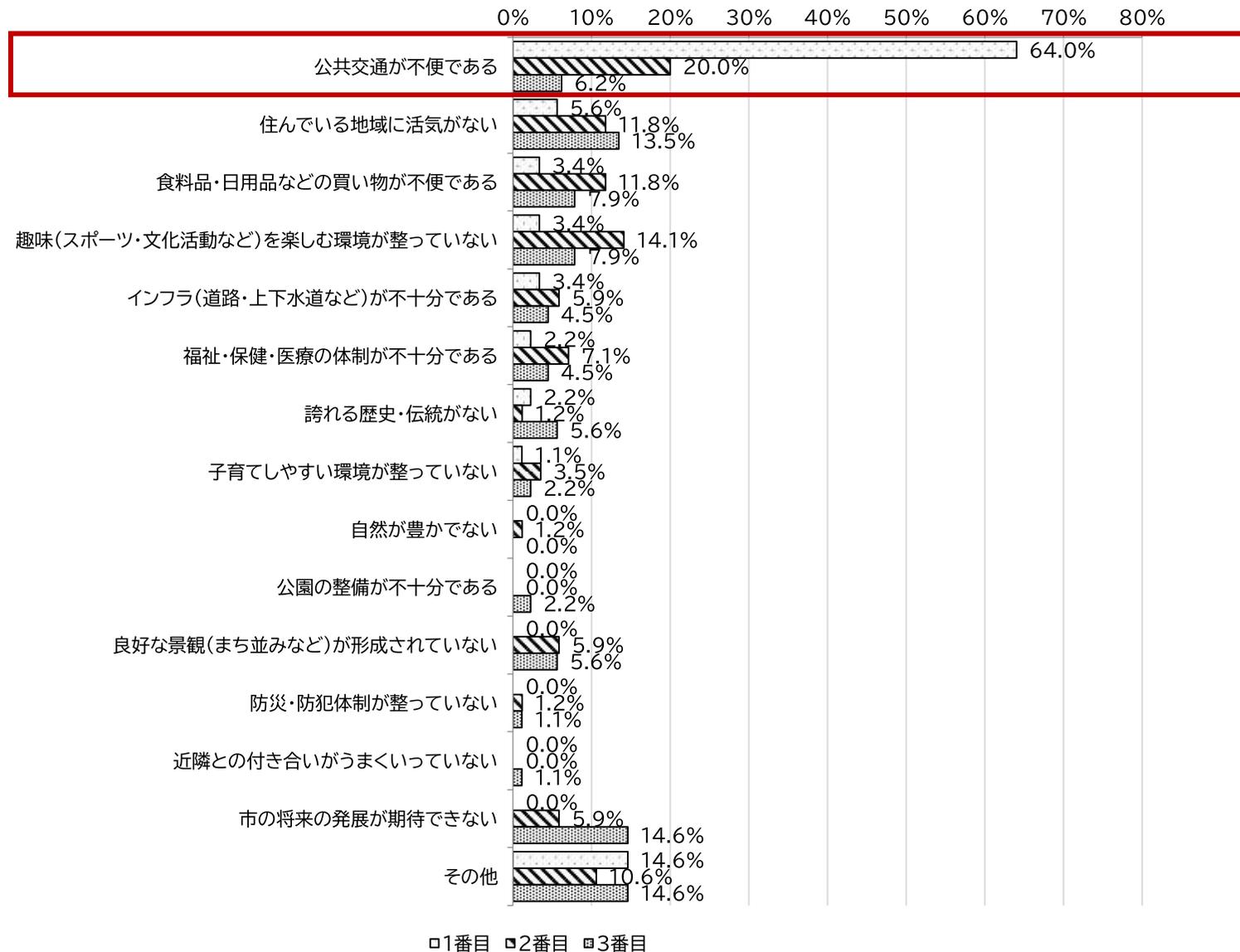
2番目：n=458

3番目：n=448

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ①市内在住者向け若者アンケート：調査結果 -

住み続けたくない理由

- 住み続けたくない理由について、1番目で最も多い回答は「公共交通が不便である」(64.0%)であり、次いで「住んでいる地域に活気がない」(5.6%)、「食料品・日用品などの買い物が不便である」(3.4%)となっている。



1番目：n=89

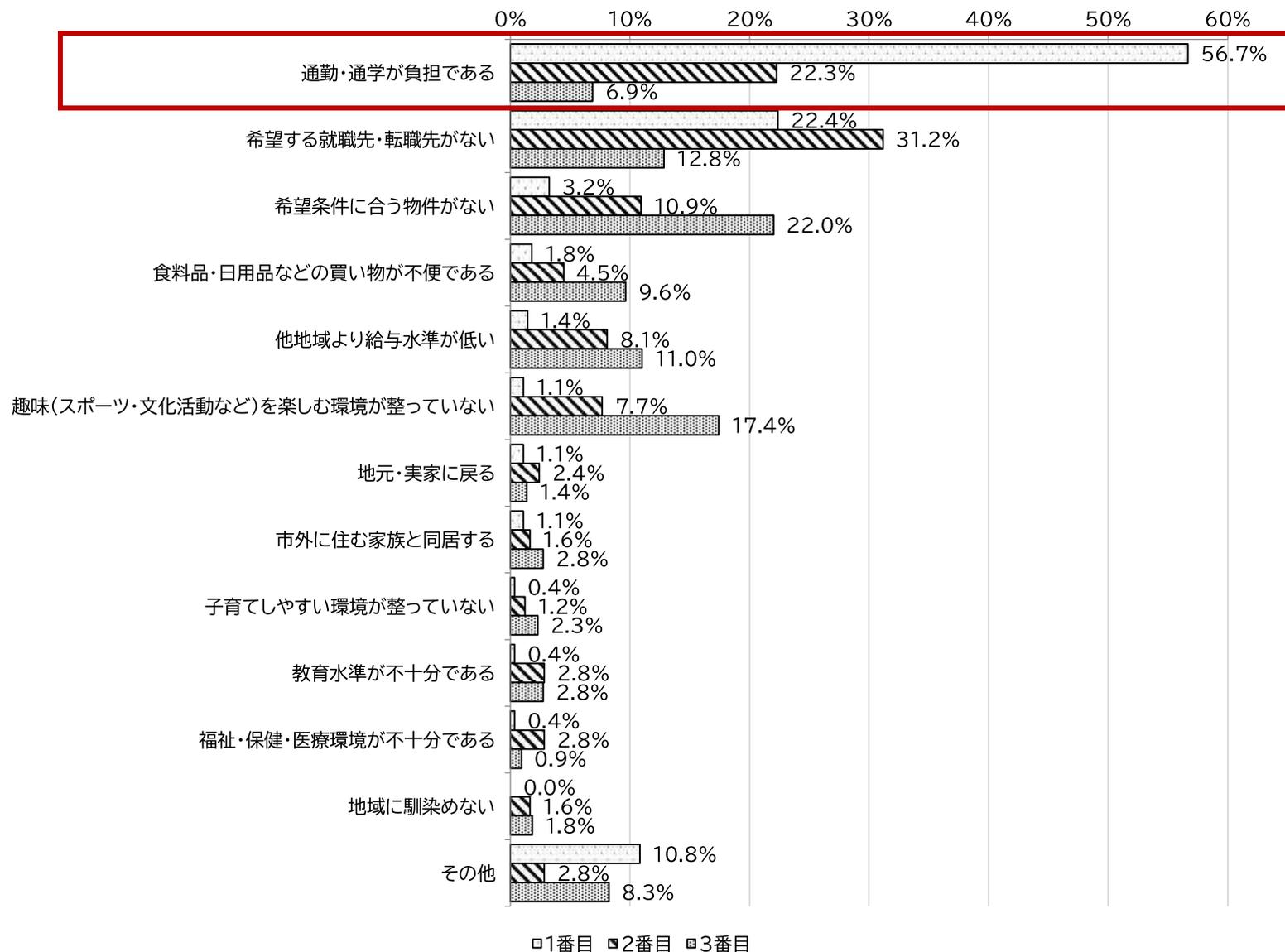
2番目：n=85

3番目：n=81

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ①市内在住者向け若者アンケート：調査結果 -

転出を考える理由

- 転出を考える理由について、1番目で最も多い回答は「通勤・通学が負担である」(56.7%)であり、次いで「希望する就職先・転職先がない」(22.4%)、「希望条件に合う物件がない」(3.2%)となっている。



1番目：n=279

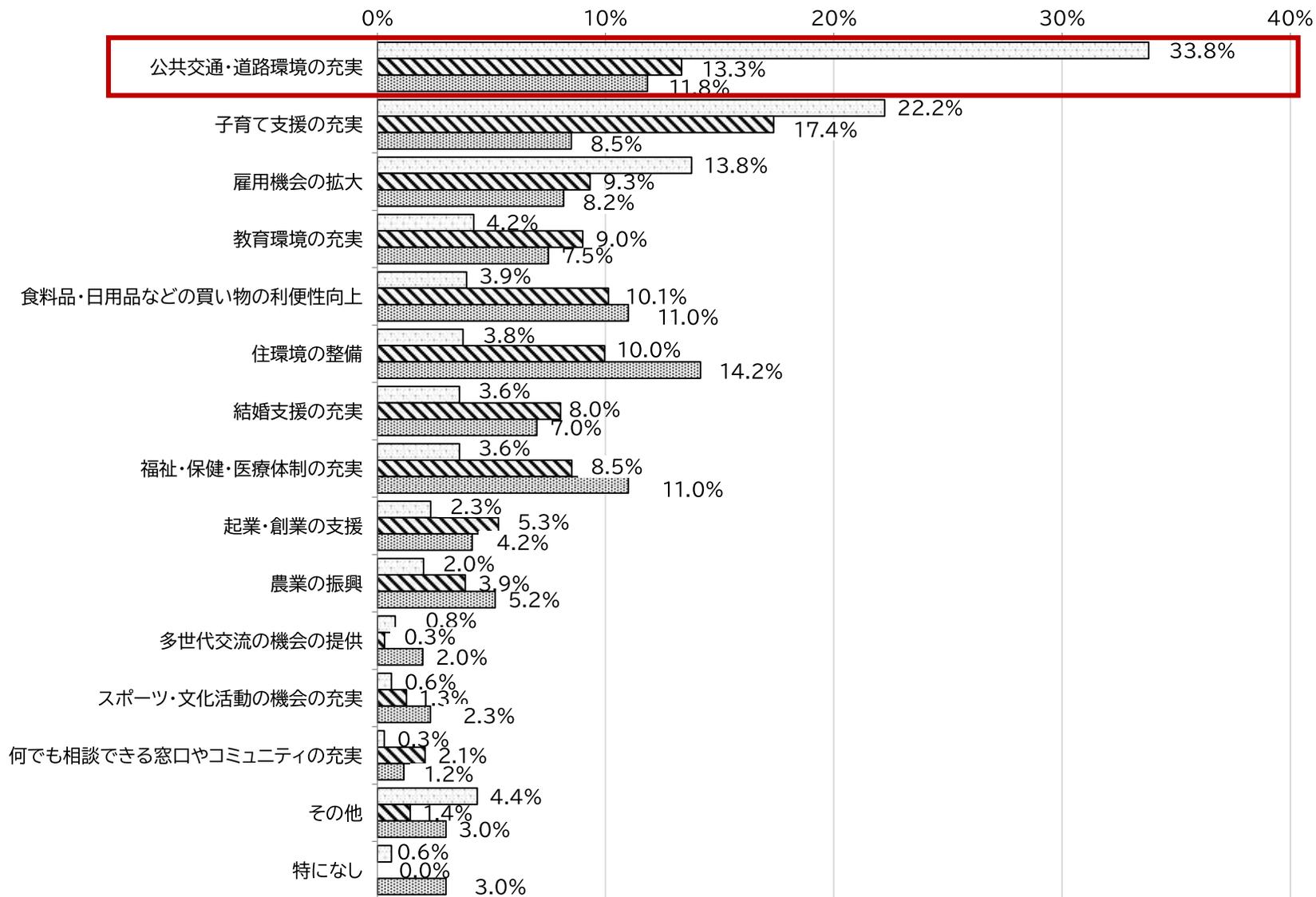
2番目：n=247

3番目：n=218

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ①市内在住者向け若者アンケート：調査結果 -

若い世代が印西市に住み続けるために重要な取組

- 若い世代が印西市に住み続けるためにどのような取組が重要だと考えるかについて、1番目で最も多い回答は「公共交通・道路環境の充実」（33.8%）であり、次いで「子育て支援の充実」（22.2%）、「雇用機会の拡大」（13.8%）となっている。



1番目：n=639

2番目：n=622

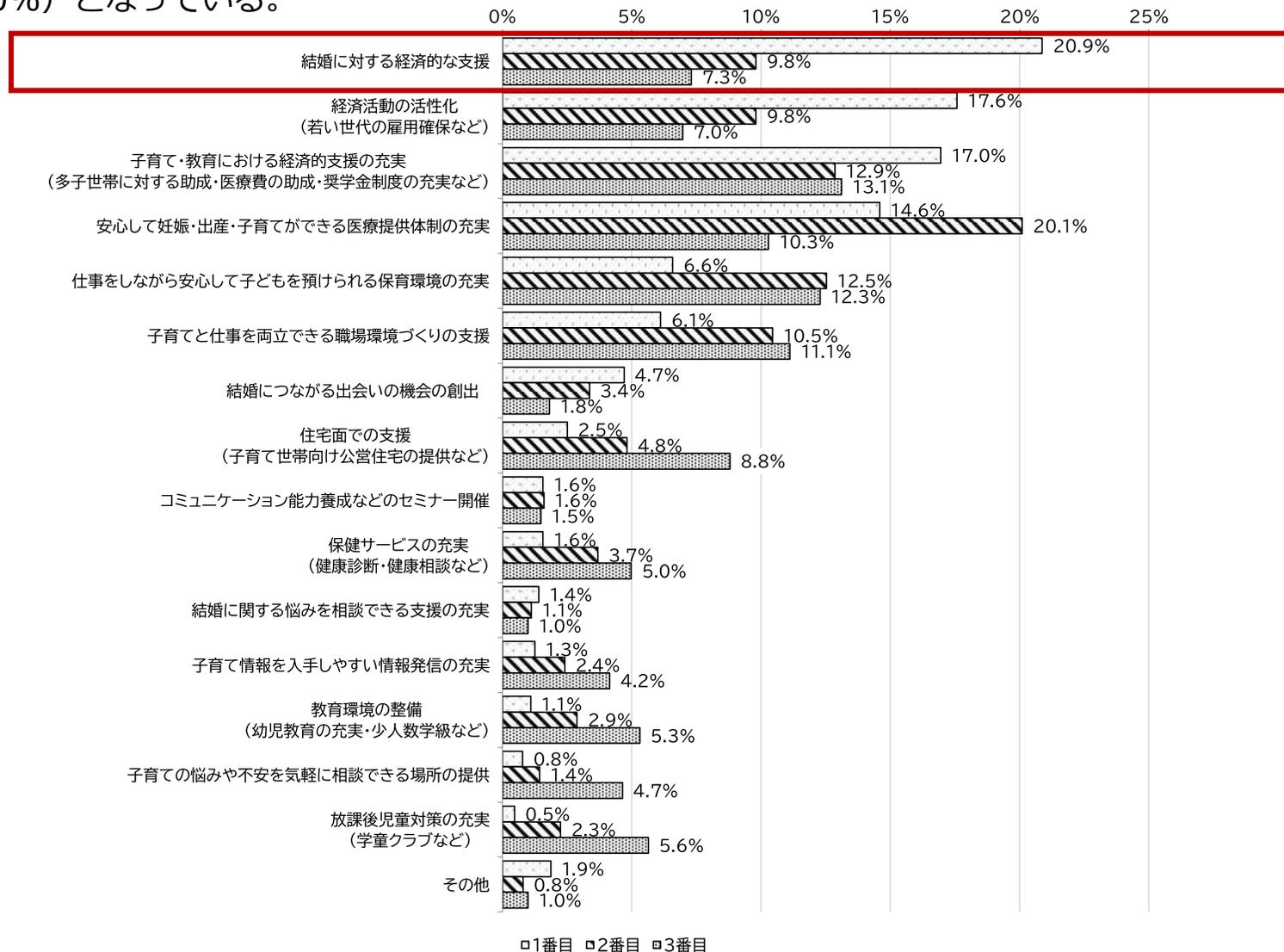
3番目：n=600

□1番目 □2番目 □3番目

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ①市内在住者向け若者アンケート：調査結果 -

結婚・出産・子育ての希望を叶えるために力を入れる必要がある取組

- 結婚・出産・子育ての希望をかなえるために印西市はどのような取組に力を入れる必要があるかについて、1番目で最も多い回答は「結婚に対する経済的な支援」(20.9%)であり、次いで「経済活動の活性化(若い世代の雇用確保など)」(17.6%)、「子育て・教育における経済的支援の充実(多子世帯に対する助成・医療費の助成・奨学金制度の充実など)」(17.0%)となっている。



1番目：n=637

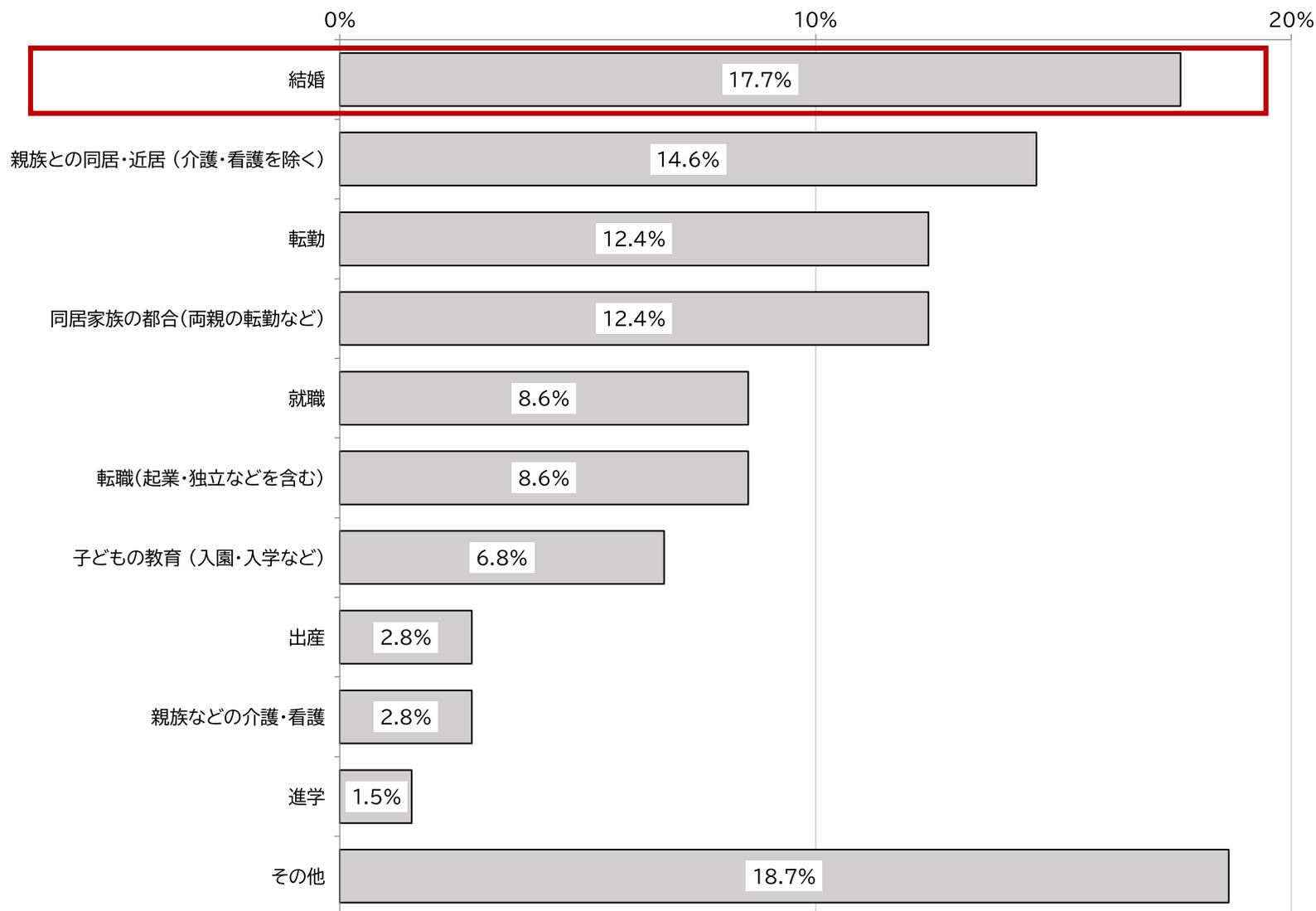
2番目：n=622

3番目：n=602

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ②市外在住者向けアンケート：調査結果 -

現在の居住地に転入したきっかけ

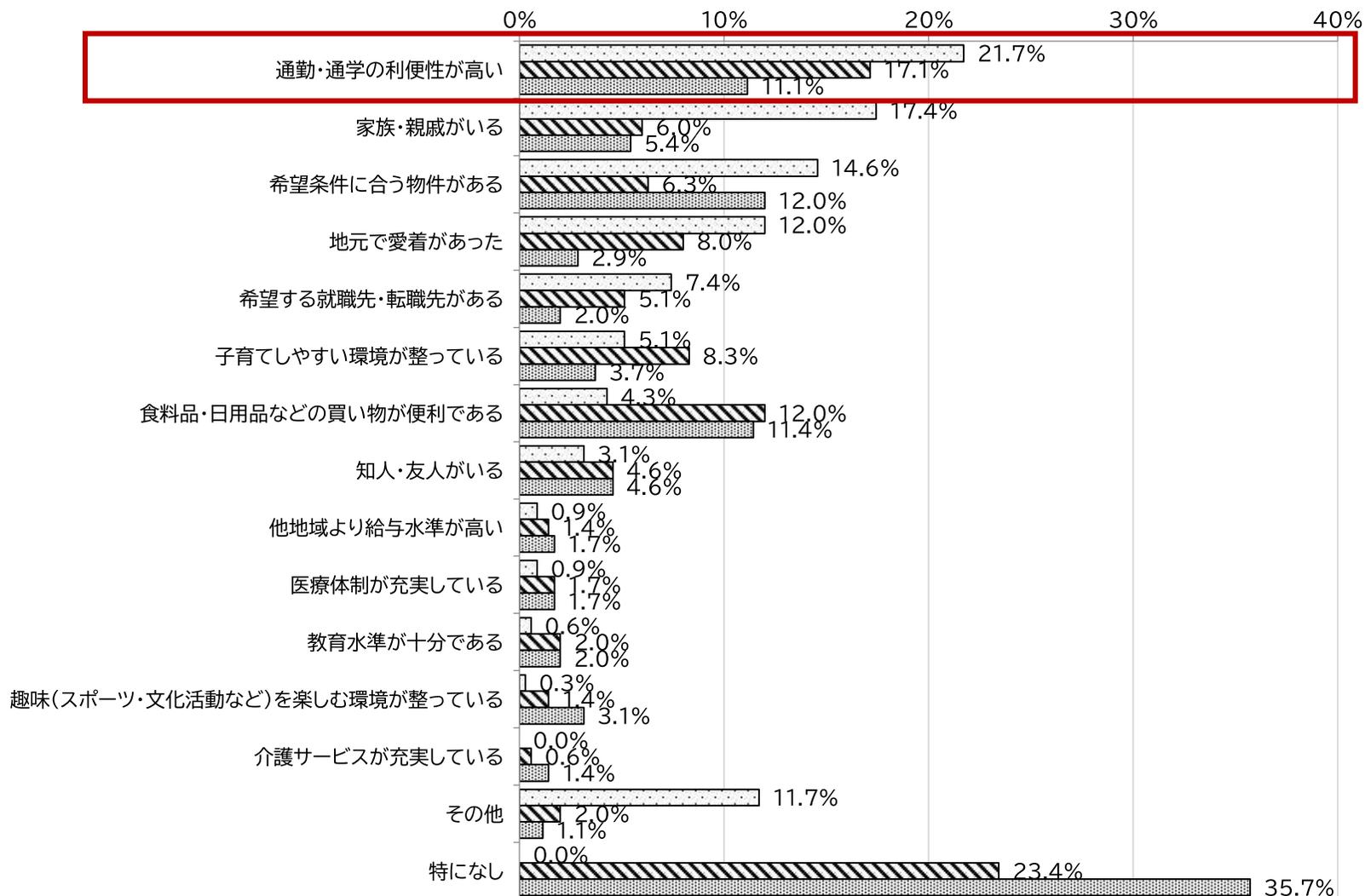
- 現在お住まいの市区町村に転入したきっかけについて、最も多い回答は「結婚」(17.7%)であり、次いで「親族との同居・近居(介護・看護を除く)」(14.6%)、「転勤」及び「同居家族の都合(両親の転勤など)」(12.4%)となっている。



3. 市民ニーズに係る調査結果 - ②市外在住者向けアンケート：調査結果 -

現在の居住地に転入した理由

- 現在お住まいの市区町村に転入した理由について、1番目で最も多い回答は「通勤・通学の利便性が高い」(21.7%)であり、次いで「家族・親戚がいる」(17.4%)、「希望条件に合う物件がある」(14.6%)となっている。



1番目：n=350

2番目：n=350

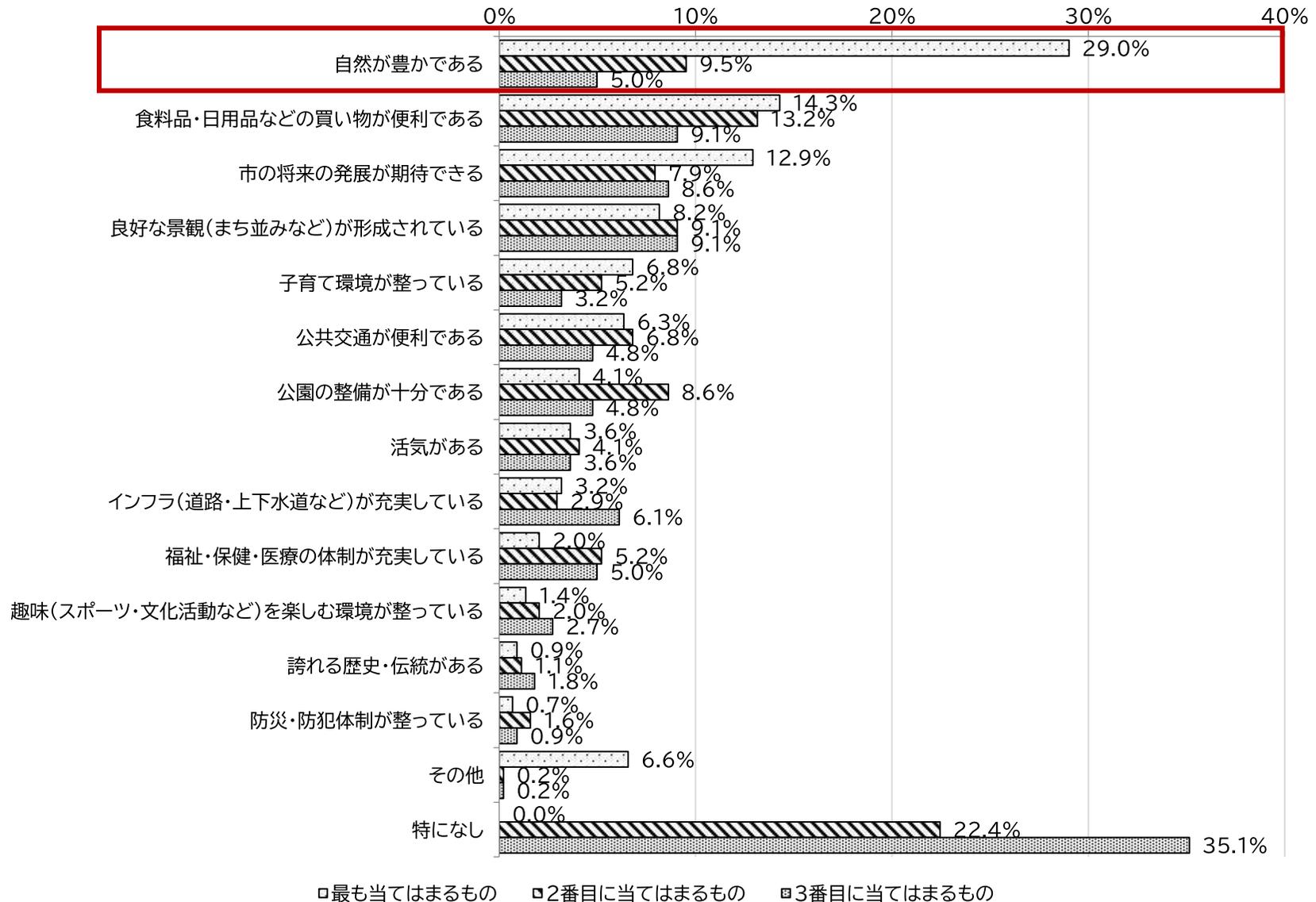
3番目：n=350

□最も当てはまるもの □2番目に当てはまるもの □3番目に当てはまるもの

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ②市外在住者向けアンケート：調査結果 -

印西市の魅力

- 現在住んでいる市区町村と比較した本市の魅力について、1番目で最も多い回答は「自然が豊かである」(29.0%)であり、次いで「食料品・日用品などの買い物が便利である」(14.3%)、「市の将来の発展が期待できる」(12.9%)となっている。



1番目：n=441

2番目：n=441

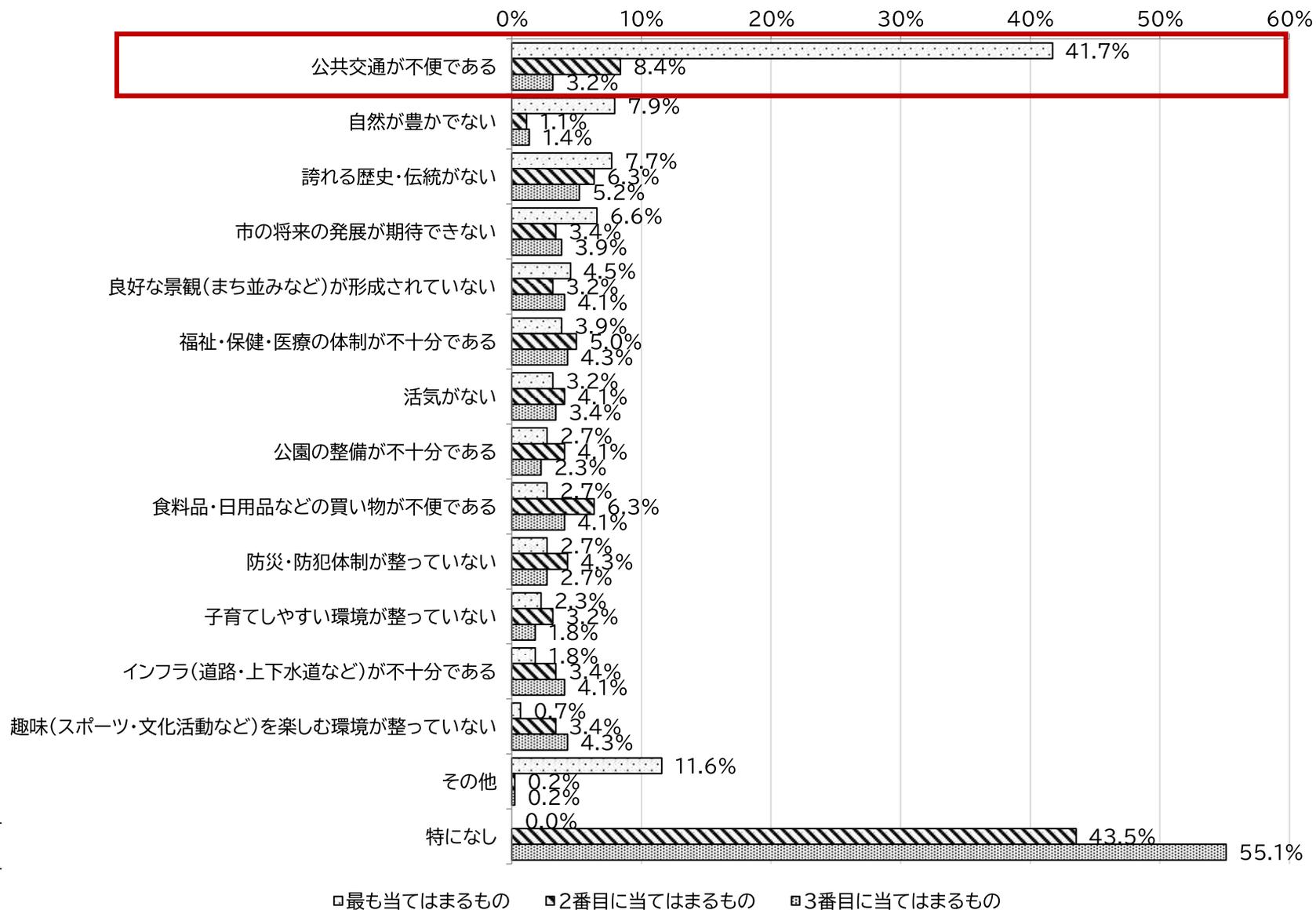
3番目：n=441

□最も当てはまるもの □2番目に当てはまるもの □3番目に当てはまるもの

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ②市外在住者向けアンケート：調査結果 -

印西市の課題

- 現在住んでいる市区町村と比較した本市の課題について、1番目で最も多い回答は「公共交通が不便である」(41.7%)であり、次いで「自然が豊かでない」(7.9%)、「誇れる歴史・伝統がない」(7.7%)となっている。



1番目：n=441

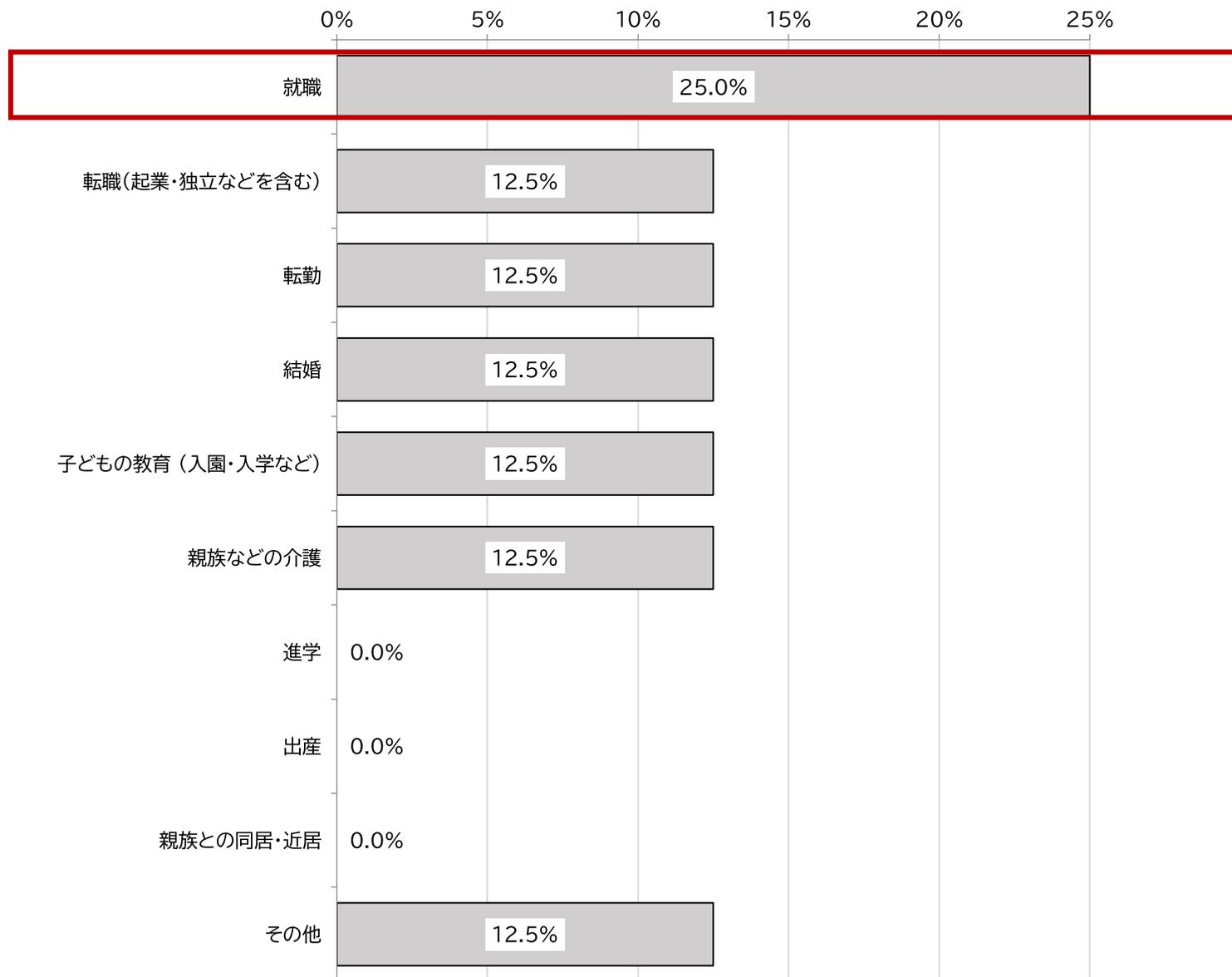
2番目：n=441

3番目：n=441

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ③転出入者向けアンケート（転出）：調査結果 -

転出の主なきっかけ

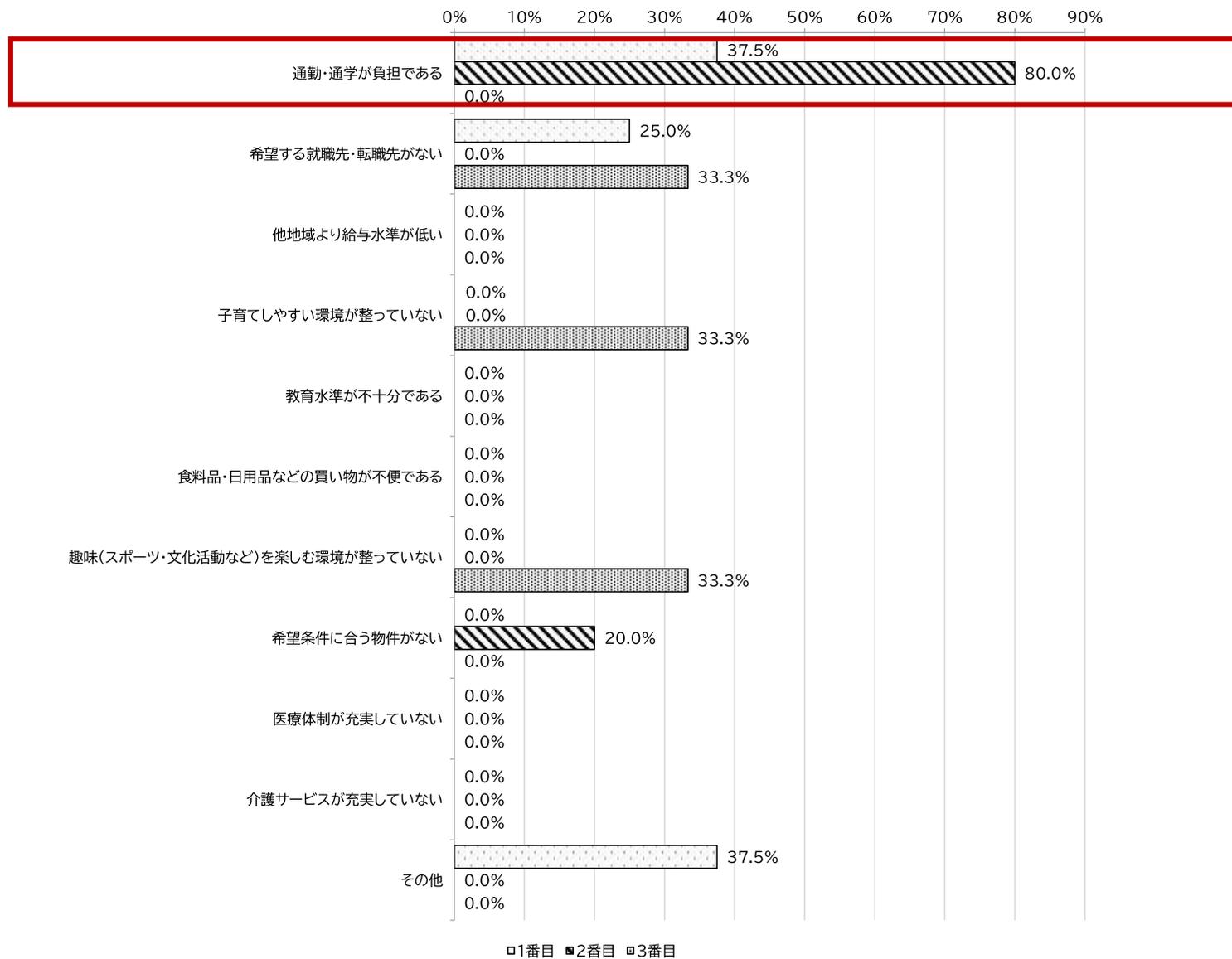
- 転出の主なきっかけについて、最も多い回答は「就職」（25.0%）であり、次いで「転職（起業・独立などを含む）」、「転勤」、「結婚」、「子どもの教育（入園・入学など）」及び「親族などの介護」（12.5%）となっている。



3. 市民ニーズに係る調査結果 - ③転出入者向けアンケート（転出）：調査結果-

転出を考えた理由

- 転出を考えた理由について、1番目で最も多い回答は「通勤・通学が負担である」（37.5%）であり、次いで「希望する就職先・転職先がない」（25.0%）となっている。



1番目：n=8

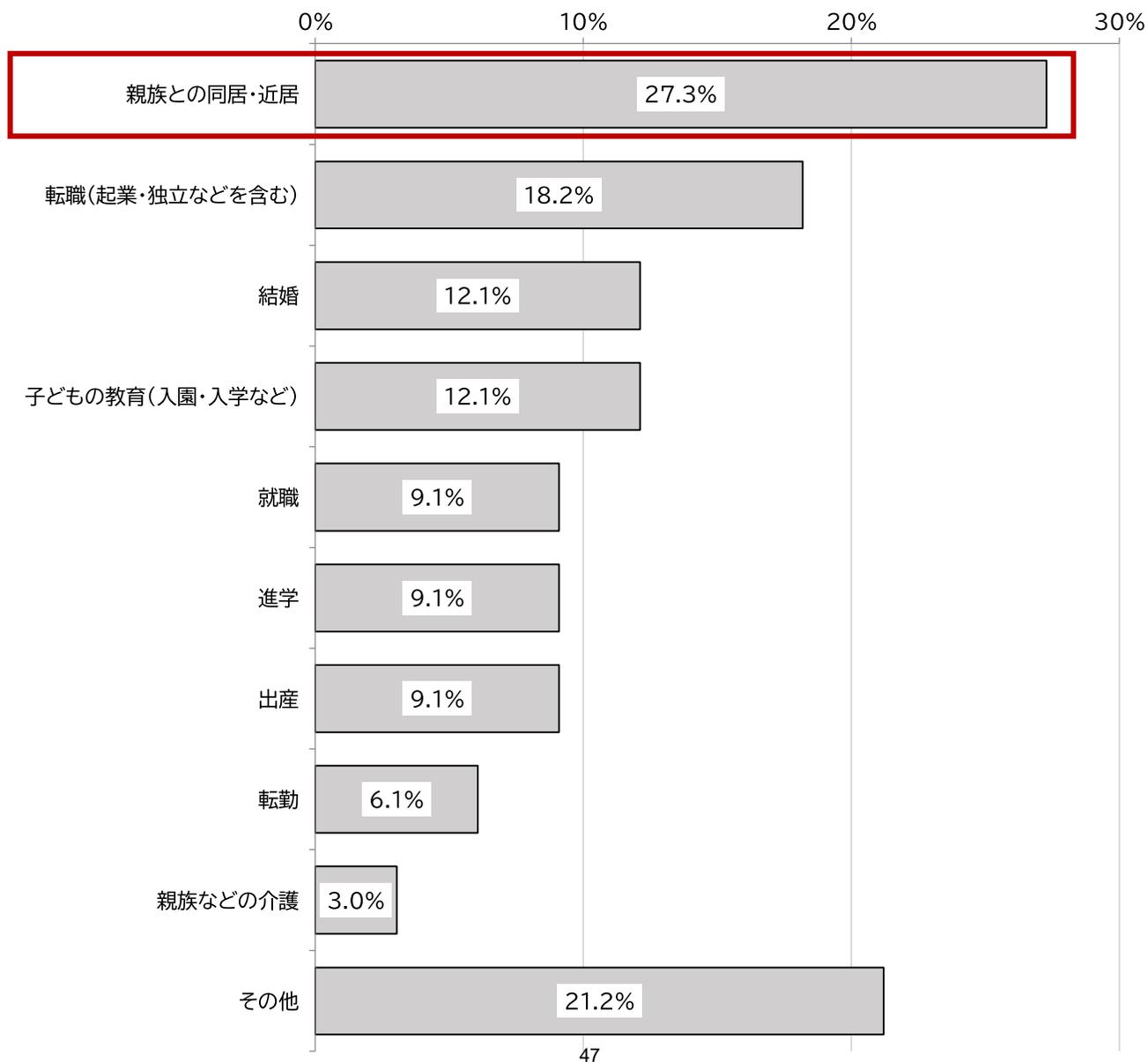
2番目：n=5

3番目：n=3

3. 市民ニーズに係る調査結果 - ③転出入者向けアンケート（転入）：調査結果 -

転入の主なきっかけ

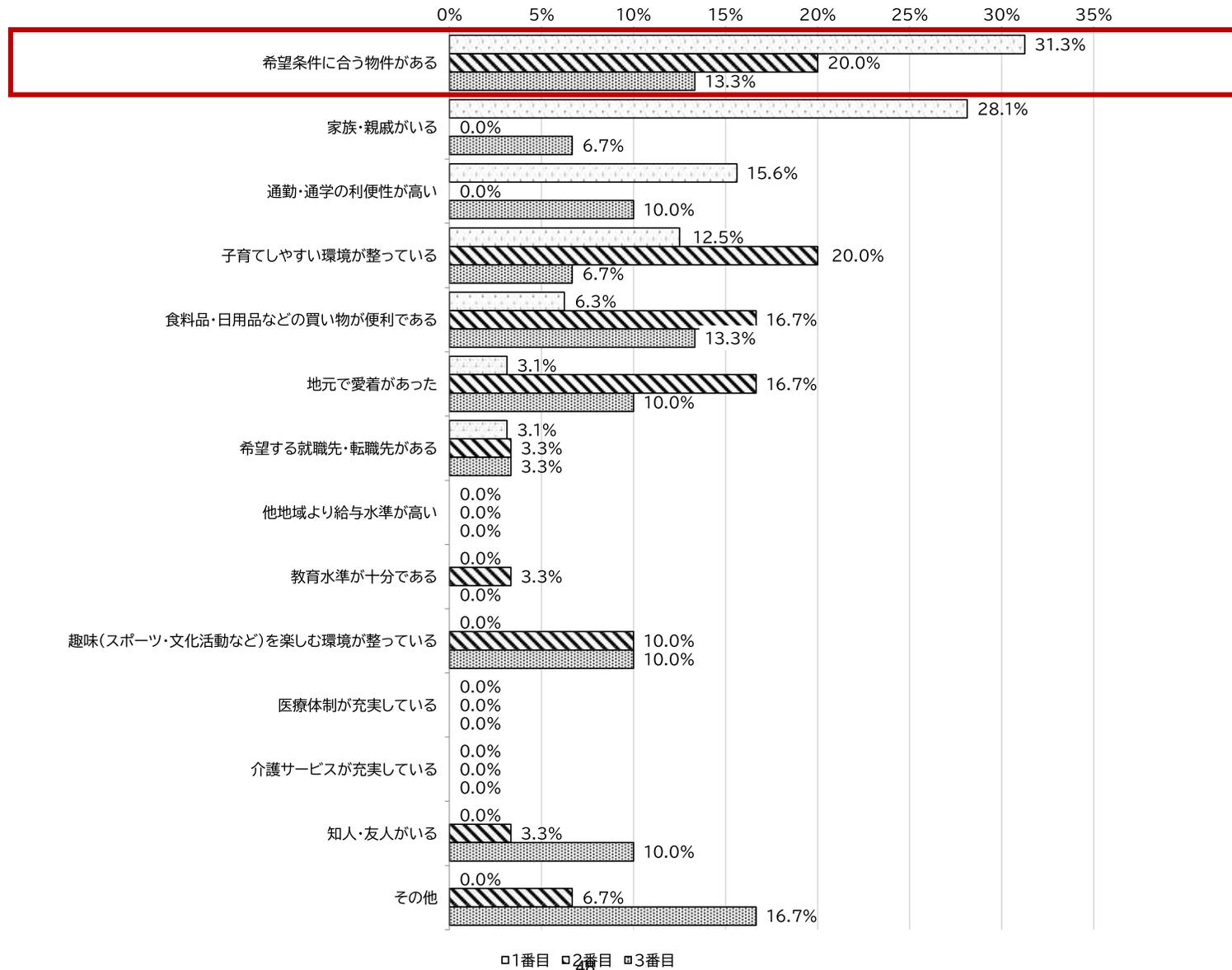
- 転入の主なきっかけについて、最も多い回答は「親族との同居・近居」（27.3%）であり、次いで「転職（起業・独立などを含む）」（18.2%）、「結婚」及び「子どもの教育（入園・入学など）」（12.1%）となっている。



3. 市民ニーズに係る調査結果 - ③転出入者向けアンケート（転入）：調査結果-

最終的に転入先として選んだ理由

- 最終的に本市を転入先として選んだ理由について、1番目で最も多い回答は「希望条件に合う物件がある」（31.3%）であり、次いで「家族・親戚がいる」（28.1%）、「通勤・通学の利便性が高い」（15.6%）となっている。



1番目：n=32

2番目：n=30

3番目：n=30

4. 第2次基本計画策定に向けた今後の方向性

今年度実施した基礎調査及び分析、市民ニーズに係る調査結果から抽出した課題を基に、第2次基本計画及び次期総合戦略の一体的な改定に向けて、「新しい地方経済・生活環境創生（地方創生2.0）」の内容を踏まえた施策体系及び重点施策案を次年度にかけて検討